

「東京真田町の会」会報

日本タボス

創立30周年記念号

平成29年12月23日



懐かしき故郷のたより

… 秋冷に映えるみのり “さんふじ” …

写真提供：深町共栄理事（本原のりんご園）

NO.

30



祝

東京真田町の
会 30 周年記念
- 会報 30 号 -

～ ふるさとの景色と追憶 ～

① 第 32 回真田まつり「夏の陣」2017 年 8 月 11 日 (金)



②上田市「花と緑のまちづくりコンテスト」生徒の花壇が最優秀賞, ③農地の再生, ④根古谷城より横尾城を望む、



こがねの波間に埋る傍陽線跡。

⑤ 隧道遺構 [伊勢山側]、⑥ 同 [神川鉄橋側]、⑦ 傍陽線第二鉄橋の橋台 (曲尾側からみた傍陽側のそれ)



⑧ 同橋台 (傍陽側からみた曲尾側のそれ), ⑨ 長材駅 (宮下希佐己氏提供), ⑩ 終点真田～さなだ.. (同氏提供)。

(29 ページの最下段より続)

のだろうか？睡魔が時を告げた。
翌朝、つぎは 60 回目の節目だ、再
会を約束し散会。来年こそは、所
用等々で今日参加されなかった仲
間に会えることを楽しみにしてい
る。(幹事神田幸雄記)

○ 真田中昭和 36 年 3 月卒 (第 5

期 2 組) 通第 2 回

(1) 2017 年 7 月 9 ～ 10 日

(2) 上山田温泉旬樹庵若乃湯

(3) 参加 13 名 (女性 6、男性 7)

2 年前の第 1 回には別所觀光ホ
テルへ 9 名が集合「待つてました」
の声。別れ際「みんな元気なうち
に会っておこうね！」とのかけ声
に、次を引きうけた幹事さんは「来
年も来なよ」と応えていました。
それっきり音信不通で一年半
：。第 2 回の幹事のもとへは「私
もまぜてよね」の便りが入り、
当夜の上山田にはボヤの炎がチヨ
ロチョロと。背筋ピンと張り真
田に向かって「♪美しきかな・」
を唱和し、じまんオケやら、また
夕食後のゲラゲラも愉快に、
しばし 60 年前の追憶に酔夢。
(一之瀬和夫記)

☆ 会員のみなさまへ ☆

故郷に住む仲間との懸け橋とな
るよう、本号から標記の表題をお
くことになりました。皆様から
ご寄稿を待っております。



もくじ

一	表紙(懐かしき故郷のたより)	編集部	一
二	くふるさとの景色と追憶く	編集部	二
三	もくじ	編集部	三
四	ごあいさつ	会長(横沢出身)	四
五	輝く未来につながる健幸都市を目指して	上田市市長 山口 元彦	四
六	次なるステージへ	上田市議会議員 母袋 創一	四
七	三十周年のお祝いと	上田市議会議員 土屋 陽一	五
八	ふるさとの未来に向けて	真田地域自治センター長 山宮 正久	六
九	合併十二年目となりました	上田市議会議員 古市 順子	六
一〇	真田の里から2017	上田市議会議員 三井 和哉	七
一一	更に知名度の上がる故郷	上田市議会議員 佐藤 論征	八
一二	情熱	上田市議会議員 金沢 広美	八
一三	華やかな年に印象に残った一言	上田市議会事務局長 金井 浩一	九
一四	会報「日本ダボス」第30号発行に寄せて	信州うえだ農業協同組合 代表理事組合長 坂下 隆行	一〇
一五	「東京真田町の会」の創立と真田町の交流の経緯について	JA信州うえだ農業協同組合 真田地区代表理事 北島 一博	一一
一六	☆第三十回総会・懇親会のご報告	元真田町長(創立時町長代理)(赤井) 若林 康朗	一一
一七	☆創立30年に寄せて	神田 幸雄	一四
一八	☆各部の活動報告	御殿場市在住(傍陽・萩出身) 柳沢喜三郎	一八
一九	私の故郷	各担当理事	一九
二〇	東京真田町の会のみなさんへ	中横道出身(旧姓堀内) 所 けさい	二一
二一	みなさまへ	宗教法人長谷寺代表役員・住職 宮下 俊哉	二二
二二	クラシックカーレース「ラ・フェスタミツレ・ミリア2017」	JA信州うえだ女性部真田支会支会長 久保 町子	二三
二三	筋肉鍛え元気で長生きしましょう	上田市真田地域自治センター 産業観光課 鈴木 邦子	二四
二四	会員の皆様の近況報告抜粋	介護福祉士(横尾出身) 編集部	二五
二五	同級会などの開催情報	編集部	二六
二六	平成二八年度決算報告書	編集部	二九
二七	平成二九年度事業計画・収支予算・役員名簿	事務局・編集部	三〇
二八	お知らせなど・編集後記	編集部	三一
二九	広告(ロゴスキー・JA信州ほか)	編集部	三二

いあつ

会長 山口 元彦

(横浜 出身)



今年も残り僅かになりましたが、皆さまにおかれましてはお健やかにお過ごしのことと拝察申し上げます。

東京真田町の会は、本年、創立三十周年を迎えました。ひとえに、会員の皆さまの絶大なご協力と、上田市の皆さまの温かいご支援の賜物と、心より感謝申し上げます。

昭和六十三年九月十日、上野の池之端文化センターで、総勢三百三十名もの方たちが参加し、たいそうな熱気の中で創立総会が開かれました。

それから早くも三十年が過ぎ、会員構成の変化や新生上田市の誕生など、会を取り巻く状況は変わりましたが、毎年の総会・懇親会には多数の会員の皆さまがご出席下さり、ふるさとからも市長様、

市議会議長様をはじめとするトップの方々のご列席下さって、ふるさと言葉を交えながらの交流が続いておりますのは、本当に素晴らしいことだと思います。

今年の総会・懇親会では、三十周年を記念し、当会創立当時真田町長職務代理者として、その後町長として、会の設立及び運営に多大のご支援をいただいた若林康朗様をお招きし、短時間ですがご講話をいただきました。若林様は、当会創立の目的は、ふるさとを遠く離れて活躍している真田町出身者の「持続的相互互惠交流」授受であること、三十周年を節目として設立時の発想の原点を再確認することが大切であること、プラス志向的な考えで目的意識を持つことが必要であること、人を育てることの大切さなどをお話しくださるとともに、当日ご列席の上田市副市長様や市議会議員様に対し、当会に対するご支援をお願いしていただきました。

新生上田市も十年になり、昨年の「日本ダボス」でのご挨拶でも触れましたように、医療、教育、文化などの充実、地域に根差した産業の育成、公共交通の整備等々、広域性を活かした事業が進みました。

昨年は、大河ドラマ「真田丸」の放映が実現し、私どもも地元

皆さんも夢中になり、また、日本中から大勢の観光客が訪れてくれました。その勢いを、今後につなげていくことが大切であり、市長様や議員様方のご寄稿で触れられておりますように、様に々な取り組みがなされております。八月十一日に開催された今年の真田まつりには、八千五百人が会場を訪れ、子供みこし、元ラグビー日本代表選手による「ラグビー体験」、女優長野里美さんによる「雁金をどり」、歌手野村美菜さんの「ミニコンサート」、花火大会などで盛り上がりました。七月一日には、新たな住民自治組織である「真田の郷まちづくり推進会議」が設立され、住民自身の知恵と力を結集して、地域の暮らしを支え、様々な地域課題に対応する活動もはじまりました。

私たちも、当会創立の原点を踏まえ、ふるさとでの諸取組にならいつながら、四十周年に向けて、一歩一歩、意気高く進んでまいりましょう。

それでは皆様、どうぞ佳い新年をお迎えください。

☆

☆

輝く未来につながる

健幸都市を目指して

上田市市長 母袋 創一



東京真田町の会の皆様には、御健勝で御活躍のこととお喜び申し上げます。

この会が昭和六十三年に発足され、今年で三十周年を迎えられましたことに對しまして心からお祝い申し上げます。また、発足時に創刊された会報「日本ダボス」の記念すべき第三十号の発行おめでとうございます。会員の皆様との並々ならぬ「故郷への熱き思い」の賜物であり、心から敬意を表すとともに、これからは会員相互の親睦と故郷とのきずなを結ぶ会として発展されますよう心から願っております。

さて、昨年は、まさに大河ドラマ

マ「真田丸」に沸いた一年でありました。「真田丸」は、全国のファンに愛され、上田城跡公園をはじめ、市内の真田氏ゆかりの史跡には大勢の皆様に訪れていただき、週末ともなると市街地は大変な活気に満ちあふれ、観光面に限らず幅広い分野に経済効果がもたらされたものと受け止めております。今後は、「真田丸」が残してくれたレガシーの活用を図り、様々な創意工夫を凝らしながら、更なる誘客につなげてまいります。

また、2019年に開催されるラグビーワールドカップ日本大会の「公認チームキャンプ地」の誘致につきましては、現在、キャンプ地の認定要件とされている菅平地区振興施設の建設に鋭意取り組んでおり、平成三十年の秋頃の供用開始を目指しております。また、「公認チームキャンプ地」の誘致に加え、大会前に滞在する「事前チームキャンプ地」の誘致にも積極的に取り組んでおりますが、この度、イタリアチームと合意し、同国で契約の運びとなりました。キャンプ地誘致の実現は、「世界の菅平」に飛躍するチャンスであるとともに、地域経済への波及効果や国際交流など、様々な面での効果が生まれるものと捉えております。2020年の東京オリンピック

ク・パラリンピックと続くビックスポーツ大会も視野に入れながら、引き続き積極的な誘致活動に取り組んでまいります。

今後、急激な人口減少や超高齢社会への対応が急務とされる中、各種政策を確実に推進し、将来都市像「ひと笑顔あふれ 輝く未来につながる 健康都市」の実現に向け、引き続き「市民の力」「地域の力」「行政の力」の三つの大きな力を結集し、魅力あふれるまちづくりにまい進してまいりますので、皆様には、ふるさと上田市を温かく見守っていただき、引き続き変わらぬ御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会のますますの御発展と会員の皆様の御多幸を心から祈念し、会報「日本ダボス」に寄せるあいさつと致します。

次なるステージへ

上田市議会議長 土屋 陽一

「日本ダボス」第三十号が皆様のお手元に届く頃、真田地域の山々は澄み渡った空の下、白く美しい姿を見せていることと思いま

す。

本年五月に、東京真田町の会にお招きいただきました折には、これまでと変わらぬご厚情を頂戴し、心より感謝申し上げます。皆様の故郷への深い愛情に接し、大きな喜びを感じた次第です。



上田市は、昨年大河ドラマ「真田丸」の放送により、知名度が飛躍的に高まり、観光客をはじめとした大変多くの方々にお越しただく中で、さまざまな関連事業を展開し、これまでにないまちのにぎわいや大きな経済効果を得ることができました。私も県外の人などにお会いし、上田市について話すときには、真田氏発祥の地の出身であることを伝えるだけで「ああ、あの」と共感や共鳴をいただき、うれしくも誇らしい経験をいくつも重ね、それは現在も続いております。

また、大河ドラマがもたらした経済的効果に加えて、文化的・学術的な意義も感じています。「真田丸」放送開始後、真田信繁公の直筆の書状が当市で発見され、大阪では、出城「真田丸」があつたとみられる箇所の学術発掘調査が行われて成果を挙げたとのことです。さらに、本年八月には、真田昌幸公書状の原本が約百年ぶりに発見され、上田市立博物館で特別展示が行われました。

「真田丸」の放送をきっかけに、新たな史料が発見され、真田氏に関する研究が進展することは大変意義深いことです。このような心躍る出来事が観光振興にもつながり、大河ドラマ放映後においても、上田市のにぎわいや真田地域の活性化の一翼を担ってくれるものと期待しています。

さて、上田市は合併から十年を過ぎ、この間、文化創造都市の実現や協働のまちづくりを目指し、さまざまな取り組みが行われてまいりましたが、現在大きな事業として市庁舎の改修・改築事業が始まり、新たなステージへと踏み出しています。

熊本地震での庁舎被災状況等を踏まえ、自治体には組織的な危機管理体制の強化が求められるとともに、庁舎の耐震化は喫緊の課題となっています。市議会では「市庁舎改修・改築研究委員会」を設置し、市民サービスを充実すべく庁舎全体の理想像を研究すると

もに、特に議場や議会施設のあり方について協議を重ねています。

地方自治を進める主軸となるべき二つの柱である市長部局と議会が切磋琢磨し、より健全に機能するとともに、市議会が市民とともにあるために、一層身近になり、ご意見を反映できる、例えば、傍聴しやすく、親しみを持つていただけの議場をはじめとして、議会施設がより理想に近づけるように十分研究してまいります。

末筆となりますが、東京真田町の会の皆様におかれましては、今後とも、上田市の発展にお力添えを賜りますようお願いいたします。

結びに、東京真田町の会のますますのご発展と会員の皆様のご多幸を心からご祈念申し上げ、ご挨拶いたします。

三十周年のお祝いと

ふるさと未来に向けて

真田地域自治センター長

山宮 正久

東京真田町の会の皆様には、お健やかにお過ごしのこととお喜び申し上げます。

本年五月の総会には、四月に拝

命いたしました真田地域自治センター長として参加をさせていただきました。皆様には温かくお迎えいただき心より感謝申し上げます。



また、この度は会発足三十周年を迎えられ心からお祝いを申し上げます。私事で恐縮でございますが、会発足当時、役場でその事務担当をさせていただいておりました(注1)。真田町では初めて故、準備は全て手探りの状態でございましたが、設立準備会の皆様はじめ大勢の皆様方の郷土愛という大きなお力を頂戴いたしました。昭和六十三年九月、上野池之端文化センターで設立総会が盛大に開催されました。爾来、三十年の長きにわたり会の運営、発展のためご尽力賜りました役員の皆様並びに会員の皆様に改めまして敬意を表するとともに、深く感謝申し上げます。次第でございます。ちなみに会

報表紙「日本ダボス」の文字デザインでありましたが、創刊当時のまま大切にお使いいただいております。胸が熱くなる思いでございます。

さて、昨年は、大河ドラマ「真田丸」の放送により真田氏発祥の郷である真田地域にも全国から大勢のお客様にお越しいただき、中でも「真田氏歴史館」は観光バスでのご来館も多く、例年の約五倍の入館者数となりました。本年も例年以上の観光客が訪れ、同館で開催した企画展も盛況のうちに終了したところでございます。引き続き、追い風を受けた「真田ブランド」を大切に生かしながら観光振興や地域振興につなげてまいります。

菅平高原では、2019年のラグビーワールドカップ日本大会「キャンプ地」誘致に向け、「菅平地区振興施設」建設など、地域の皆様と共に受け入れ環境の整備を進めながら誘致活動に取り組んでまいりましたが、この度、イタリアチームによる事前キャンプ実施が決定いたしました。今後、「公認キャンプ地」の選定や、2020年東京オリンピック・パラリンピック各国代表選手への「キャンプ地」利用にも期待が膨らむところであります。

さて、今後の人口減少社会進展

などを見据え真田地域においても将来に向けた取り組みを進めております。その一つが住民の皆様が連携してまちづくりを行う新たな住民自治の仕組みづくりであり、本年七月、「真田の郷まちづくり推進会議」として組織化されました。今後、この新たな仕組みを定着させ、魅力あるまちづくりが進められるよう連携、支援に努めてまいります。

会員の皆様には、引き続きふるさとのおまちづくりにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、東京真田町の会並びに会員の皆様の方々のご発展とご健勝をご祈念申し上げ、ごあいさつとさせていただきます。

(注1…編集部より)ダボスno.1「平成元年3月23日発行」創刊号p.19には、真田町役場企画調整課の四氏に山宮様氏名が記されています。

合併十二年目

となりました

上田市議会議員 古市 順子

今年5月の総会の折は大変お世話になりました。2年ぶりの出席でしたが、相変わらず温かな雰囲気、楽しい時間を過ごさせていた

できました。

農業は天候に大きく左右されますが、今年5月31日には真田地域も含めて神科から東御市にかけて雹が降り、りんご、ぶどう、レタス等に大きな被害が出ました。りんごはこれから主力のフジの収穫となりますが、贈答用は品不足が予想されます。キズりんごの販売が課題で、市でも県外のイベント等で取り組む予定ですが、会員の皆さんには、ご協力をお願いします。



「真田丸」の放映が終わり、真田の郷を訪れる方は大分減りましたが、放映前よりは多いように感じます。「真田氏」の人気は根強いようです。

さて今年の地元の出来事を二点お伝えします。一点目は、本原小学校の管理・教室棟が全面改築されたことです。木材を多用した平屋の広々とした新校舎です。今まであった石段も利用した斬新なデザインです。校庭には仮設校舎が建っていましたが、まだ整備が終

わらず、運動会は3年連続真田運動公園グラウンドで行われました。練習もままならなかったと思いますが、子どもたちは力いっぱい元気な姿を見せてくれました。

二点目は、菅平地区振興施設の建設が始まったことです。

整備事業は、地域住民や来訪客等の交流や憩いの場、観光による地域振興や市民の健康維持・増進に貢献、地域の防災機能、スポーツ合宿地としての更なる機能強化等多目的です。加えて「国際スポーツリゾート信州上田菅平高原」の魅力を世界に発信し、2019年ラグビーワールドカップ日本大会、2020年東京オリンピックのキャンプ地誘致も可能な機能も備えた施設となっています。菅平リゾートセンター横の芝生広場に、建築面積約2000㎡2階建ての建設が急ピッチで進んでいます。この施設の建設に至るまでには合併以来、様々な紆余曲折がありました。合併する市町村では、合併特例債を活用した事業を出し合ったそうですが、真田地域ではほぼインフラ整備が終わっており、図書館と菅平の自然館等の整備が課題だったとのことです。図書館は建設場所など活発な議論もありましたが、基金もあり早期に整備されました。菅平の施設については、どのような施設が必要なのか、

様々な議論や状況の変化があり、合併12年目にしてようやく始まりました。

自然豊かな故郷ですが、必要なハード事業は進んでいます。

7月には、安心して暮らし続けられる地域づくりをめざして「真田の郷まちづくり推進会議」が設立されました。そこに住む者が故郷の魅力を再認識して、努力していくことが大切だと改めて思います。

向寒の折、会員の皆様にはご自愛くださいますように・またお会いできる日を楽しみにしております。

真田の里から2017

上田市議会議員 三井和哉

過日の東京真田町の会の総会では、お世話になりました。

いつものお顔に逢えることが嬉しく、私の中では一年で最も楽しい一日となっております。

さて、今年の真田地域は昨年の「真田丸」の興奮も一段落し、穏やかな里の日々が流れています。

そんな中でも、2019年に日本で開催される、ラグビーワールドカップのイタリアチームの事前キャンプ地として菅平高原が決まった、という嬉しいニュースがあ

りました。

「菅平」といえば話は変わりますが、今年から私は松尾芭蕉翁の『おくのほそ道』を訪ねる旅というものを始めておりまして、今のところ深川から松島まで巡ったのですが、先日宮城県白石市の田村神社甲冑堂へ行った時のことです。



甲冑堂には源義経の身代わりとなつて非業の死を遂げた、佐藤継信・忠信兄弟の奥さんの武者姿の像があり(文部省唱歌「甲冑堂」を覚えておられる方もいらっしゃるかと)、説明していただいたかなり御年配の宮司さんが、「若い時に菅平へスキーに行ったことがある」と言われるので、びっくりしました。

このようなことは行政視察に行っても日本中で聞くことがあり、

上田は知らなくても菅平そして真田氏の真田町が知られていることは、真田町に住む住人として誇りが持てることです。

先ほど述べたイタリアチーム事前キャンプが、菅平・真田町そして上田市の世界的知名度アップにつながることを願いますし、打ち上げ花火に終わらせずに、イタリアとのスポーツはもちろん文化交流やインバウンドにつなげていかなければいけないと思います。

終わりにになりましたが、「東京真田町の会」の益々のご発展と、会員ご家族様のご健勝とご多幸を祈念いたしまして、ご挨拶とさせていただきます。

更に知名度の

上がる故郷

上田市議会議員 佐藤 論征



東京真田町の会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお

喜び申し上げます。本年も、東京真田町の会総会のご案内をいただいておりますが、真田地域体育祭と日程が重なり、出席が叶わず大変申し訳ございませんでした。

さて、昨年はNHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、これまでに経験のしたことのないくらい多くの観光客の方が真田地域を訪れました。放送が終了した本年についても、昨年ほどではありませんが、多くの観光客の方が真田地域を訪れており、放送により真田地域の知名度が向上したことを実感しております。

また、長年にわたり地域や菅平高原を訪れるアスリートから要望が多かった、菅平高原の屋内運動施設について、菅平高原の魅力を更に高め、観光による地域振興をはじめ、地域住民の健康維持・増進、防災機能の充実など、多目的な地域振興施設として整備することとなり、現在、菅平高原国際リゾートセンター前に急ピッチで建設が進められております。2019年日本開催のラグビーワールドカップをはじめ、2020年東京オリンピック・パラリンピックなど国際的なビッグスポーツ大会に係るための環境整備であり、世界に向けて菅平高原の知名度やブランド力を向上させ、スポーツ合宿の聖地である菅平高原を「世界の

菅平」へ飛躍させるための取り組みが行われております。

真田地域は、日本のみならず世界でも知名度の向上を図れる千載一遇の好機を真つただ中であります。この好機を最大限に活かし、東京真田町の会の皆様が大切にしてください。故郷を更に魅力ある地域となるよう尽力してまいる所存であります。

結びに、東京真田町の会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝をこころよりお祈り申し上げます。

情熱

上田市議会議員 金沢 広美



東京真田町の会にお招きいただきまして、ありがとうございます。

今年は貴会の発足三十年目となりますね、おめでとございます。今日までご尽力されてこられた皆様大変ご苦労様です。

《広告欄》

(有)上原重機

クレーン作業は懇切丁寧で定評のある上原重機
へご相談下さい

Rough terrain crane/TADANO

25t/10t/7t/5t

吊上げ：鉄骨・鉄筋・住宅・
庭園(庭石・植木)・その他一般

〒389-0505 長野県東御市和 1086-1

TEL 0268-36-2369 FAX 0268-35-0502

上原重二・恵子 (大日向出身田姓一之瀬)



土木仮設用材・建築用製材

各種建材取扱

大久保木材(合)

代表 大久保睦男

(真田中学校第5期卒、大日方出身)

〒386-0152 長野県上田市大屋351-1

TEL 0268-35-0128(代)、Fax 0268-35-0226

先の会報29号「日本ダボス」へは、真田丸その後として書かせていただきました。

真田にお住いのN社長の呼びかけで今年一月に、ドラマ真田丸矢沢頼綱役の綾田俊樹さんを囲んで、松代真田会会長、会員、沼田から歴史家、横浜からは矢澤家、それぞれの方々とのトークショウが、大盛況で開催されました。

矢澤家は今十九代。代々「頼」の文字が男についているそうです。矢沢城跡で開催の桜祭りにも、お出でいただきました。

N社長の情熱から、新たな交流が進んでいます。N社長は「日本シリア友好協会」会員です。若いころ中東など旅行をし、生活は貧しいはずの子供達にとっても親切にしてもらったことが、心に焼き付いていて、歳をとったら海外ボランティアをやるうと心に決めたそうです。

会員になり、友好協会会長と知り合い、シリアでは大学教授であった会長の体験をお聞きすると、すごく胸に響き、シリアの現実を一人でも多くの人に知ってもらいたいと、社長は考えていました。

N社長のおかげで、異文化理解講演会「私が体験したシリアの春」戦乱の母国を逃れて、と題し日本シリア友好協会シハブ会長の講演が十一月行われることになりました。

た。上田市多文化共生推進協会（AMU）の主催です。

一人の情熱は人を動かし、社会を動かします。

私も議員として情熱を持ち続け、社会が少しでも良くなったと、思っていただけのような働きます。

東京真田町の会のご発展、そして会員の皆様のますますのご健勝とご多幸をご祈念いたします。

華やかな年に

印象に残った一言

上田市議会事務局長

金井 浩一



昨年の上田市は、合併十周年の記念すべき年であり、またNHK大河ドラマ「真田丸」の放送により、全国から大勢の方にお越しいただき、次々と関連のイベント等が行われ大変華やかな一年であり

ました。東京真田町の会の皆様にも、大いにPRしていただいたり、実際にお越しいただいたり、上田市を盛り上げていただきましたことに対し、感謝申し上げます。

テレビ、雑誌等でも真田氏、上田市を数多く取り上げていただきましたが、ある歴史物の番組の中で、「弱小と言ってもいい真田氏が存続し、歴史にこれほど名を残すまでになったのはなぜか」という問いに、解説の方が「時代によって課題は変わる。その課題に全て対応したからだ」と答えていたことが印象に残っています。また、真田氏とは関係のない番組でしたが、ある女優の方が「仕事で地方に行く、まちによって生活に必要なものの優先順位が全く違うことに気付かされる。東京はどファッションが上位にくるまちはない」と言っていたことも併せて印象に残っています。

上田市の行政の中には、人口減少社会への移行に対峙する中で、知名度が上がった「真田ブランド」を「上田ブランド」に進展させることと、この十年の間に醸成した一体感とベースの上に、地域ごとの多様性が活かされた独自のまちづくりを行う仕組を完成させることの二つが位置づけられています。一言で表すと「地方創生」と「地域内分権」ということですが、

《広告欄》

東京真田町の会

顧問 小林 孝雄
(曲尾出身)

〒234-0051 神奈川県横浜市港南区日野 4-45-5
☎ 045-349-2084

信州◇戸倉上山田温泉

ホテル

圓山荘

〒389-0821

長野県千曲市上山田温泉 2-9-6

TEL 026-275-1119

FAX 026-275-1109

和風旅館 別館

西乃館

〒389-0821

長野県千曲市上山田温泉 1-59-11

TEL 026-261-0324

FAX 026-261-0325

信州・源泉掛け流し温泉宿

これらを行政のみならず上田市全体で考えていく際には、今の課題に全て対応できているのか、ここでの生活に必要なものは何だろうと考える視点を持つことに、一定の意味があるのではないかと思いました。

また、この視点で東京から上田市を見た時には、上田市民が気付かないことに気付いていただけでもいいかもしれません。そのため、東京真田町の会の皆様におかれては、引き続きこれからの上田市に関心を寄せ、見守っていただきますようお願い申し上げます。

会報「日本ダボス」

第30号発行に寄せて

信州うえだ農業協同組合

代表理事組合長 坂下 隆行



東京真田町の会の皆様方におかれましては、益々ご清祥のことと

お慶び申し上げます。

貴会設立以来発行の「日本ダボス」も今回で30回目の発行とお聞きし、その歴史の長さに感銘を受けたところでございます。

これも貴会会員の皆様並びに役員・関係各位のご尽力とふるさと「真田」を愛する情熱の賜物と敬意を表する次第であります。

また、日頃より信州うえだの農畜産物をご愛顧いただくとともに、当JA信州うえだの地域農業の振興において貴重なご提言をいただいておりますことに対しましても心より感謝申し上げます。

信州上田も今、秋本番の収穫時期を迎えております。本年は5月に一部地域で過去に例のない大規模な雹害が発生し、管内の農産物にも甚大な被害が発生しました。

真田地区においてもリンゴや出作のレタスに被害出るなど大きな打撃を受けた年となりました。

しかし、多少なり見栄えの良くないものもございますが、農家の皆さんのご努力により、災害に負けず、色・味ともにそんな色のない見事な農産物が収穫を迎えております。

ひょう害においては各種マスクミでも被害に遭われた農家の現状を伝え、また上田市のふるさと納税の返礼品としてもお取扱いいいただき、全国から応援のメッセージ

とともに、ひょう害果をご購入いただいております。県内外の物販展にも毎週出展する等、役職員一丸となって農家所得の増大に向けた取り組みを実践しております。

恒例の菅平カントリーフェスティバルやレタス祭りにも多くの観光客が訪れ、菅平の農畜産物の旬の味覚を十分に堪能していただきました。

また、ラグビー合宿の聖地で名高い菅平高原は今、行政と一体となつて2019年開催のラグビーワールドカップの誘致に向けた活動を展開しており、熱気に包まれた今後の菅平に期待がもたれます。

菅平の農業の歴史は明治中期以前に遡り、養蚕期を経て蔬菜発展期を迎え、現在の充実期に至っております。長い歴史に裏付けられた農業と文化そして、スポーツとの融合した菅平は世界に誇れる地と確信しております。

今後も地域とともに歩み、地方創生にもつながる農業づくり・地域づくりに取り組んでまいりますので、ご支援・ご協力をいただければ幸いに存じます。

結びに東京真田町の会の更なるご発展と会員各位のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げます、ごあいさつとさせていただきます。

☆ ☆

《広告欄》



土木工事 解体工事 測量 造園 除雪

株式会社山崎商會

代表取締役社長 山崎 勇治

〒386-0002 長野県上田市住吉 1039-2

TEL 0268-24-6221 FAX 0268-27-7558

e-mail : yamazaki_shyoukai@yahoo.co.jp



山崎公認会計士事務所

Yamazaki CPA Office

公認会計士 / 税理士 山崎 友揮

(長野県上田市住吉出身)

〒102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-12-7 MSビル 6F

tel. 03-6272-6539 fax. 03-6272-6765

e-mail. yamazaki@yy-cpa.com

会報発刊に寄せて

JA信州うえだ農業協同組合

真田地区代表理事

北島 一博



会の皆様、五月の総会の際には大変お世話になりました。大変貴重な経験をさせていただき、感謝申し上げます。

またこの度、会報に寄稿させていただき、チャンスを戴きましたこと御礼申し上げます。

あれから五ヶ月、皆様いかがお過ごしでしょうか。

こちら真田では山々は綺麗に色づいて秋盛りというのに、このところ雨が降り続いていまして生育の早い「あきたこまち」の刈り取りは済んだのですが、遅い「コシヒカリ」の被害や「ふじ」への影響が心配されています。

あのとき皆さんと親しくお話をさせていただき、東京の中で踏ん張っている郷土の先輩が大勢いらつしやるのだなと強く感じました。故郷真田でも、皆さんが胸を張って「どうだ真田は凄いだろ」と言えるよう、努力していかねければと身の引き締まる思いでした。

さて今年、御会総会の後5月31日、故郷真田町では広範囲に強い降雹に見舞われリンゴを始めとする果樹野菜等のほとんどが出荷不能になってしまいました。農業だけでは食べていけないと転職を考えた方もいらつしやいましたが、農家の皆さんは農薬散布・摘果とほとんどお金にならないとわかっていながら、今年ではなく来年の秋に素晴らしいリンゴを収穫するため、正常品と同じように作業を繰り返していました。（この事を私は知りませんでした）まさに自然相手の農業は競争原理だけでは成り立たないのです。

規制改革が言われていますが農業には食と国土を守るという使命があります、金銭的価値だけで計ることは出来ません。岩盤で良いのです。国連でさえ「小規模家族農業経営こそが食糧危機と環境破壊を防ぐ」といつています。

国民の食と国土を守るためには農業を振興しなければなりません。

そのためには営々と築きあげてきた「弱小な家族経営農家がほとんどの日本型農業」と関連産業を「岩盤」と言われるシステムで守らなければなりません。この点、先進国では形は違っても補助金制度が充実していて安心して農業に従事しているのに対し、日本ではどんどん補助金を減らして老朽化した農業用インフラの更新を遅らせ生産力の低下には目もくれず農家や地域を疲弊させています。

しかし農家は経営者であり技術者であり環境を守るボランティアであります。

後継者を育て技術を継承発展させて、親から自分へ、そして子から孫へ、と繋いで真田の地を伸ばしていきたいと思います。

また皆様にお目にかかれる日を楽しみにしております。

最後になりましたが東京真田町の会のご発展と皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げます。

ありがとうございます。

「東京真田町の会」の

創立と真田町の交流

の経緯について

元真田町長（創立時町長代理）

《広告欄》

菅平まんじゅう
製造、販売

かんせいえん
菅清園

地酒・地ワイン・地ビールも揃えております

菅平高原 菅清園 TEL: 0268-74-2525 Fax: 0268-74-2655

若林康朗 (赤井)

(本稿は平成29年5月14日(日)総会・懇親会における氏の講演録です)



皆様に熱く語りかける若林康朗様

先ず以って、東京真田町の会創立30周年記念総会および祝賀会にご案内賜り、心から感謝を申し上げますと共に、お祝い申し上げます。

本日は、誠におめでとうございます。

山口会長様から、4月2日に電話で、4月5日付ではご鄭重なるご依頼をいただきました。この度の30周年記念総会にあたり創立時のお話をさせていただきたいのご要請がありました。

当時、宮島町長が、体調を崩されてお亡くなりになって、私が町長職務代理者として出席し、昭和63年9月10日の設立総会が、上野の池の端

文化センターで行われました。それから早くも30年の歳月が過ぎましたが、その感動は今でも忘れることが出来ません。

「その時に、ご挨拶を申し上げた写真が、これです。」(会場の壇上から提示)

それから、私は町長として9年間総会に出席いたしました。町の行政報告やふるさとの状況等を皆様に報告させていただきました。

「ふるさと」を後にして、あの上野駅ホームに降り立って、将来の夢を描き、不安と必死な決意での思いであつたことの心情を思い出しますと、胸に迫るものがあります。そして、色々な分野の職業に就かれ、日本復興にご活躍されました。

今日、それから30年の歳月が過ぎ、皆さま方にお会いできまして、本当に感動いたしております。私も、現在退位で話題になっております天皇陛下と同年の83歳になりました。今日まで、多くの皆様にお世話になり、感謝の気持ちでいっぱいです。

平成9年から一線を離れ、烏帽子岳の麓で日々秘かに「ミンナニホメラレモセズ」、「クニモサレズ」の「デクノボウ」の生活を送って83歳になります。

皆さんに、御無沙汰のご容赦ご寛容をお願い申し上げます。

西洋の諺に、

「雄弁は銀」シルバー、

「沈黙は金」ゴールド、

とありますが、時間も限られておりますので、私の話は当意即妙的な機転もできない「釈迦に説法」のような話下手で、皆さんの居眠りを誘うかも知れませんが、お許しをお願いします。

「施した恩は、水に流し、

受けた恩は、石に刻め」

と、よく言われておりますが、多くの方々に大変お世話になりました。

今回の総会で、山口会長様から、「東京真田町の会」設立の動機・目的・経緯・交流実績・現在の真田町の状況及び「真田町の会」に期待すること等20分位で、講演してほしいとの要請がありました。

お話の原稿を17枚書きましたが、昨夜7枚に纏めました。残り時間はあと15分ぐらいですので、端折ってお話を進めさせていただきます。

それでは、早速結論から申し上げます。山口会長様からのお示しで、会議次第には「講演」とありますが、「講話」でもなく、「お話し」と言うことであります。したがって、マイクから離れてのお話をお許し願います。

最初に、話を進める上で、二件ほど皆さんにお尋ねしますので、

手を上げてください。

それでは、

最初に、83歳の方はおりますか。

お1人ですね。

次に80歳から82歳の方は。

6人ですね。

次に50歳以下の方は。

お1人ですね。

次に昭和63年の設立総会にご出席された方は。

12人ですね。

このことに、30年間の有為転変を痛感します。

「ふるさとを」後にされ、一都三県の広範囲で、ご活躍の皆さん方の交流もなく、また、ふるさととの交流もなく、ようやく真田町制30周年記念事業の一環として、「持続的相互互恵交流」授受を目的に、「東京真田町の会」が設立されました。

そして、平成18年に上田市に合併して10年になりましたが、現在の市上田市の人口は約15万5千人です。旧真田町の人口は約1万1千人で、比率は7%であります。

この現実から、7%の旧真田町の会に対する行政対応も、時代推移から、他の「ふるさと会」との均衡配慮もあつて、仕方なしやむを得ない市政事情もあると推察できます。

それでは、早速本日の話の結論から申し上げます。じつは、私の

家は代々行政職の仕事をしておりましたが、孫たちからは、ほかの分野の勉強をしております。

特に私は、人間「生きている」こと、「生かされている」ことの幸せをつくづく最近八十路(やそじ)になって、日々実感するようにになりました。現職の頃、今日ご出席の小林副議長さんは、当時農政課長をされており、大変お世話になりました。今日、お会いできまして、「生きている」幸せを実感しております。

人生「四苦八苦」、生老病死(しよろうびようし)の苦しみ、愛する人との別れ、嫌な人との付き合い、求めても得られない苦しみ、人間五感の煩悩の苦しみ等を、転じて人生「四楽八幸」(しらくはちこう)でありたいと思う歳になりました。

人生「四苦八幸」即ち、生きる楽しみ、老いる楽しみ、病から得た貴重な生き方の楽しみ

死はすべての人の当然のことです。愛別、怨憎(おんぞう)、求不(ぐふ)、五蘊(ごうん)煩悩を幸せに転じてプラス志向に生きることが、人間にとって大切な生き方であると、八十路になって、日ごろ思うようになりました。

嫌な人がいれば、自分から近づき、接する寛容の行動が大切であります。新聞で見たことと思いま

すが、千葉大学の42歳の女性理学准教授が「猿橋(さるはし)賞」を受賞しました。そして「自分が動かないと、何も前に進まない」と言っております。体を動かし、頭を使い人に接することが大切なことでもあります。

孔子の教えに「仁と信」、即ち「思いやり」と「信頼」であります。「仁」は人に二と書きます。

人は二人以上でなければ生きられない。「信」は信州の信で、人に言と書きます。「人に信頼される言葉」で接することあります。私は、この年になってその教えの真実を実感するようになりました。

また、

「明日を楽しむ者は、花を植えろ」

「50年先を楽しむ者は、木を植えろ」

「100年先を楽しむ者は、人を育てろ」

という言葉があります。ことばでは簡単ですが、花にしても、土づくりや種を蒔いて育てる大変な時間と労力が必要です。さらに、継続しての努力が必要であります。

「非・理・法・権・天」という言葉があります。「非」という文字は、あい反する意味で「悪いこと」であります。「悪いことは、

理性に勝てない」、「理性は法に勝てない」、「法は権力に勝てない」、「権力は自然に勝てない」という人間社会組織の法則があります。世界の歴史、日本の歴史を顧みても、特に乱世戦国時代は然りであります。

多くの人々に接して、自分がプラス志向的な考えで、「目的意識」を持つことが必要であると思えます。私は、書をやっておりますが、中国の漢詩や論語などで「孔子」と「孫子」は対照的な生き方をされたという説があります。

孔子の生き方は「自分が立派で、人のためになれば、貧乏であつてもよい」と、孫子は乱世の時代でもあつたので「戦いに負ければ死、生きて功を成す」で、将に真田信繁公こと「幸村公」はこの孔子と孫子の両方の生き方をした生涯であつたと思います。

私は昭和20年に、本原村長に要請されて、企業から本原役場に転職しました。昭和37年4月の28歳の時、「真田町財政再建担当」の晴天の霹靂事例で、「真田町財政再建10カ年計画」を5年で達成しました。そして、当時の荒木町長が、昭和41年退任の年、全くで初めて地方自治法に定められている「財政事情の公表」を、88ページにわたる「真田町財政白書」(健全財政への道)として公表し、全戸

に配布いたしました。「その白書がこれであります」。(会場の壇上から提示)

また、昭和43年には全国で初めての10カ年計画の「真田町長期振興計画策定(案)」(400ページ)を策定しました。

その時、10年先の人口推計を、色々な政策を加味して10,324人と推定し、端数の一桁を切り捨て、10,320人となりました。10年先の国勢調査人口では10,321人で結果として1人違いでありました。(計画策定案はインフラ整備、ソフト事業等の行財政計画全般にわたる策定で、全国のモデル町になり、東京や県下町村研修会議の講師を務めたり、また、国内外からの多くの市町村視察団の訪問がありました)。

「その計画策定案がこれであります」。(会場の壇上から提示)

自分でも、「不撓不屈の晨(ふうとふくつのあした)」と題して、回顧録や年表、それにボケ予防雑学読本等3千ページに及ぶ15冊ほどの本を書きました。

交流実績については、「東京真田町の会」の文化遺産とも言える素晴らしい創刊号からの「日本ダボス」会報にありますので省略させていただきます(時間の都合により)。

上田市と合併して、良いとか、悪いとかではなく、組織が肥大化するとすべての選択肢が変わることは、世の中の必然原理であります。そうした中で、考えなければならぬことは、先ほど述べました「花を植える、木を育てる」のような事であります。

本日の本原出身者は一人でありますが、私の現役時代の9年間は、町長が本原から出ているからといって、多くの本原の会員に出席していただきました。時代と共に世の中は変わって行くものです。

今回30周年を一つの節目として、再創造の一步として、設立時の原点の発想を再確認することが大切であります。会長山口様もその必要性を望んでおられたのではないかと思います。

発足当時の東京真田町の会は、県下の市町村からも、その活動が注目され、問合せも多数ありました。

またラグビーランド策定施工の時には、全国ラグビー協会の金野会長や2019年のワールドカップ日本での開催責任者の真下さん、そして国会議員の方々に大変お世話になりました。

今日、会員皆さんの高齢化、新会員の入会者減少は現状から見て当然のことでもあります。またご高齢でご他界された方も多く、設

立当時の感動の風化も止むなしのこと事も事実であります。本日ご出席されております山宮センター長は、私の最初の秘書でありました。昔の真田町の町長職であります。井上副市長さんや真田町出身の市議員さんもおられますので、この30周年という記念すべき節目に、

ぜひとも行政主導による些かなりとものご支援を必要とし、お力添えをお願い申し上げます。東京真田町の会の会員は、1都3県の広範囲にわたって、職業分野も多岐にわたり散在しております。そして歴代会長等役員皆さんの惜しみないご努力で、今日に至ってこの現実をご理解願いたいとおもいます。

この場で、大変失礼とは存じますが、鎌倉時代の親鸞の言葉に、明日ありと 思う心の 仇桜 (あださくら)

夜半(よわ)に風の ふかぬものかは

咲き誇る桜も、一夜の嵐で、散るかも知れぬという、人生の儚さ感を詠んだものであります。

また、論語の教えに、

「死して 已(や)む」人間死んで、全て終わりである。だから死ぬまで全力で努力せよとの教えであります。

最後に、中国の大詩人「杜子美」(としび)の、

「老鶴万里心」

(ろうかくばんりのこころ)

老いたる鶴は、なおも千里を飛ぶ心がある。という自分自身に比している自戒の言葉であり、自分が歳をとったからと言わず、自分の生きる道に努力せよとのことであります。

そして、そんな素直な気持ちで、孫たちの将来が平和であるように願いつつ、もう暫く「生きる人生」を楽しみたいと思います。今日お話ししたことが、少しでも皆さんの心の片隅に残れば、この上ない幸せであります。

皆様方が、愈々素晴らしい楽しい幸せな人生をお送りできますよう、そして東京真田町の会、この創立30周年記念を機に、更なる前進へのご発展を心からご祈念申し上げます。話を終わりにします。ご静聴誠にありがとうございます。

(編集部より…本稿は第三十回総会・懇親会で行われた若林康朗様の記念講演の詳細をご寄稿いただいたものです。)

☆第三十回 総会・

懇親会のご報告

事務局長

神田 幸雄(横尾出身)

平成二十九年五月十四日アルカディア市ヶ谷五階「大雪の間」において第三十回総会・懇親会が開催されました。会員三十五名、上田市行政関係から三名様、市議会から五名様、JA信州うえだから三名様、同女性部三名様、東京上田会と東京丸子会から各一名様、元真田町長で本日の講師若林康朗様、真田家十四代当主真田徹様、以上十八名の方々に御出席を賜りました。JAのお申出があつて、今回の会場では地元野菜の販売があり、賑わいのある雰囲気でありました。

高らかに「信濃の国」を斉唱し晴れの総会がはじまりました。

I. 総会

司会 神田 幸雄

1. 会長山口元彦挨拶

本日は東京真田町の会、創立30周年記念の総会にあたり、遠路をお越しいただきまして有難うございます。来賓として、上田市副市長、上田市議会副議長、JA信州うえだから真田地区代表理事・女性部、東京上田会会長、東京丸子町会会長、上田市議会議員の皆様、および真田徹様、さらに、元真田町長(創立時町長職務代行)若林

様がたにご参列を頂いております。

この30年に交通環境にも変化があり、首都圏からふるさとまで時間がかからず、ふるさとのイメージも掴みにくくなりました。あらためて当会創立の目的や経緯、初期のふるさととの交流実績などを振り返るとともに、変化した状況の中で、今後、この会が、何を目標として、どのように活動していくべきか、を考える必要があると思います。

昨年、NHK大河ドラマの放映等により、観光客の数が増大してふるさとにも変化と活気がとりまいています。この効果を引き続き活かしていきたいものです。

2. 上田市副市長井上晴樹様

のご挨拶

今日は30周年記念総会にご招待いただき有難うございます。市長代理でまいりました井上でございます。

市長は、5月2日から真田丸が放映されている台湾へ観光宣伝に出張しておりますので、本日は代理の私が祝辞を申し上げます。昨年の上田には103万人の観光客がありました。

4月1日からはドラマ館で上田城の昔の姿が放映されております。

スポーツ振興では、ワールドカップのラグビー練習キャンプ地を菅平へ誘致する活動に力をいれ、この地を世界に知れるよう宣伝していきます。学術分野では、4月から長野大学が公立法人化して公立大学になりました。本会の理事である深町先生はその創立にあたり、大変な尽力をしてくださる感謝申し上げます。本年、入試倍率は10倍強に達し、地元の入学率は大変ひくく、全国からたくさんの方が上田で学ぶようになりました。

ふるさと納税については、昨年の上田で1億4千万円、これに対して例えば伊那市では70億円とおおきな値でした。これは、伊那市の場合、電化製品の製造企業が多く返礼品としてこれらの製品が充てられたというわけです。この返礼品について総務省は今年から資産性の高いものについて禁止するよう通達しています。

これまでと同様に、上田市は質の良い農産物の提供強化に重きを置いて、ふるさと納税の方々に報いたいのです。

3. 議事

- (1) 平成二八年度会務報告および会計報告 会長山口元彦
- (2) 平成二八年度会計監査報告 監事 深町共榮
- (3) 平成二九年度事業計画および

予算の決定 会長山口元彦
以上全員一致で承認頂きました。
(4) 役員異動報告 会長山口元彦
退任

堀内寿美副会長
鈴木邦子 理事・事務局長
武捨衛人 理事・会誌編集長
堀内 政 理事
担当事務の変更
神田幸雄 理事・事務局長
坂口典和 理事・会計

☆ ☆

II. 三十周年記念講演

講師 元真田町長(創立時町長代理)

若林 康朗様

演題

「東京真田町の会」の創立と
真田町の交流の経緯について
(ここでは要旨のみを記載し、詳しくは同一の表題本誌へ掲載しています。)

- (一) 総会の祝意と創立30周年記念を迎えた所感
- (二) 設立の動機と目的及び節目の意義について
- (三) 交流実績と課題及び有為転換時代の「ふるさとの会」組織活動について

(四) 平成の市町村大合併の課題(功罪)と旧真田町の現状について

(五) 東京真田町の会および行政に期待したいこと

(六) 激動変動時代に「生きる幸せ」の所感

III. 懇親会

司会 坂口 典和

1. 歓迎の挨拶

監事 深町 共榮

今日は、東京真田町の会・創立30周年の記念すべき総会に、ご来賓の皆様、また会員の皆様にご出席を賜り、誠にありがとうございます。私は、最近、真田で過ごす日が多くなった事もあり、先ほど井上副市長様から紹介がありましたように、長野大学公立化に際し、大学内の検討委員会のメンバーとなり、意見を述べさせて頂く機会がございました。公立化された長野大学は、これから第一層地元の皆様に理解され、誇れる大学へ大きく発展されるものと信じております。

本日、ご来席の皆様、懇親会が一段と盛り上がりそうですよう、役員一同工夫を凝らしてまいりましたので、どうか時間の許す限りご歓談いただきたいと存じます。

第 30回 東京真田町の会〔総会・懇親会〕での模様(平成 29 年 5 月 14 日(日)、私学会館アルカディア)



今回も上田市からリンゴ券をご提供いただきました。さらに新しい試みとして JA 信州うえだ真田地区の皆様から真田の緑彩やさいの香りを会場へご提供いただいたことです。ますます次回への期待が！…。

2. 来賓のご紹介

副会長 柴田小夜子

ご来賓の皆様をご紹介させていただきます。

上田市行政関係の皆様

上田市副市長

井上晴樹様(秋和)

真田地域自治センター長

山宮正久様(四日市)

真田地域自治センター

地域振興課地域政策係

伊藤 岳彦様(岩門)

上田市市議会関係の皆様

市議会副議長

小林隆利様(鈴子)

市議会議員

古市順子様(竹室)

三井和哉様(岡保)

金沢広美様(岩清水)

市議会事務局長

金井浩一様(緑ヶ丘北)

JA信州うえだ

真田地区代表理事

事業部長 北島一博様(菅平)

事業部長 長嶋 巖様(真田)

事業部総務課長

金井章次様(真田)

在京他会の皆様

東京上田会会長

山崎 齋明様(室賀)

東京丸子会会長

土屋 博様(上丸子)

元真田町長(創立時町長代理)
講師 若林康朗様(赤井)
真田氏関係
仙台真田家第十四代当主
真田 徹 様

以上、十四名の皆様に御出席賜りました。

つぎに、今回初めて特産品のPR
においてになった婦人部の方を紹介
します。

JA信州うえだ真田地区

女性部部长 久保町子(横沢)

同副部长 小笹光恵(大畑)

同事務局 柳沢美香(中組)

3. 来賓祝辞

○ 上田市市議会副議長

小林 隆利様

本日、晴れある三十周年記念の
場にお招きいただき御礼とともに
お祝いの辞を述べさせていただきます。
まず、元真田町長若林様のい

われた「創立時における町のバツ
クアップ」の成果が、このように
郷土を想う皆様の心のあらわれと
して、今日の盛会に至ったもので
あろうと強く感じております。

ところで、この数年の間に、い
たとところ故郷の町村の様変わり
が伝えられています。

地域では住まう人々の高齢化に
ともない医療やインフラの有様

が切実な検討課題になっています。
上田市では、NHK放映の「真
田丸」以降、訪れる方々に対して、
地域の物産や広域な歴史遺産など
の資源を、どのように提供してい
つたらよいか、息の長い企画を検
討しているところです。

このような中であって、いま、
私は東京真田町の会があるように、
多くの「故郷を想う会」と上田市
とのつながりがあることに誇りと
心強さを見出すことができ、ほ
んとうにうれしく思っております。
皆様の健康を祝して挨拶にかえ
させていただきます。

○ JA信州うえだ真田地区

代表理事 北島一博様

まずは、第30回を迎えますこの
歴史ある「東京真田町の会」総会
が盛大に開催されますこと、誠に
おめでとうございます。また栄え
ある席にお招きいただきましてあ
りがとうございます。

真田町から東京に出られて活躍
されている皆様のお元氣そうな姿
を拝見していますと、こんなに大
勢の真田幸村がいてくださること
をありがたく、嬉しく思います。

それは、野球がそんなに好きで
はなくとも、出身地の選手が出て
いる高校野球などはつい見てしま
いますし、相撲中継がみられなか
ったときなどは、必ず新聞で「御

嶽海」の勝敗を確認するなど、自
分の住んできた町や県にはいくら
かの地元愛といえますか、大げさ
に言えば根っこみたいなものがあ
って、その発露がこの「東京真田
町の会」だと思っております。

今、真田町は桜が散って、新緑
が萌え出す山々、麓では田の代掻
きも始まりました。傍陽や本原で
はレタスの収穫が始まって、まさ
に春真っ盛りです。

菅平では、ようやく桜やこぶし
が咲きシャクナゲの花やエゾツツ
ジが庭に彩を添えています。そし
て、レタスの植付がいま真っ盛り。
2019年のラグビーワールドカ
ップ等に向けた施設の建設も始ま
りました。

また、少し前の話になりますが
「ナイナイ見合い」という番組を
ご覧になった方もいらっしゃると思
うんですが、これが菅平であり
ました。17組のカップルが誕生し
まして、5組がゴールインしまし
た。そんな嬉しい話もあったこと
を申し添えておきます。

最後に「真田の農産物」を見た
とき、「ちよつと嬉しくなったり」
「これ美味しいんだ、みんなも食
べてみて」って言えるような、愛
着を持ってもらえる「野菜・果物・
きのこ達」を作っていきたいと思
っています。それを応援していく
のが、私たち「JA信州うえだ」の

役目だと考えています。

「真田町の農産物」を見たら、そんなこともちよつと思ひ出してください。

報告づくめの挨拶になつてしまいました。が「東京真田町の会」のご発展と皆様のご健勝ご多幸をお祈り申し上げまして祝辞とさせていただきます。

本日は誠にめでとうございしました。

4. 乾杯の挨拶

会員 半田喜章様(中横道) 皆さん！、30周年おめでとうございます。

皆さんの、ご長寿を祈念いたしまして、乾杯！

5. 宴会及びアトラクション

○ 歌手 藤本恭子様の熱唱と 歓談(UPCレコード所属)

若々しく張りのある響きで、六文銭たなびく「ああ上田城」など五つほども熱唱し、大いに雰囲気盛り上げてくれました。出席者の日ごろじまんの歌謡あり、つぎの興奮ピークはなんといつても、テーブルごとのジャンケン勝ち抜き戦士たちが演じた、真田地域自治センターご提供のりんごギフト券及びJA信州うえだ真田地区のご提供による新鮮野菜の獲得レ

スにありました。

終わりは、全員による恒例の輪踊り「真田郷」でお開きの気分になり、「ふるさと」の合唱を以って来年の再会を期しました。

6. 閉会の挨拶

(監事 荻原啓治)

30周年の宴もたけなわですが、皆様そろそろおわりの時ですので、閉会の挨拶をさせていただきます。

本日は、公私ともお忙しい中ご出席頂きありがとうございます。

また、JA信州うえだ真田地区事業部さまからは林檎チップや同ジュースなどのご提供をいただき、さなだの話題が一つふえました。

今後とも健康管理に留意され、来年も皆様のご出席を役員一同お待ちしております。ふるさとの野菜をいっぱい食べて元気に過ごしましょう。

本日はお忙しい中、お集まりいただき有難うございました。

☆ 総会出席会員名簿

(敬称略・順不同)

長

一之瀬和夫(大日向)

岩崎 みち子(菅平・正木)

大久保 あき子(菅平・川上)

大橋 けさ子(菅平・山本)

荻原 啓治(四日市)

川上 年美(菅平・宮崎)

神田 幸雄(横尾)

倉島 義明(横沢)

小林 栄子(菅平)

坂口 典和(真田)

柴田 小夜子(菅平・市村)

鈴木 邦子(横尾・鈴木)

武田 守央(真田)

中島 正江(戸沢・関谷)

宮島 光男(横尾)

柳沢 郁政(戸沢)

山口 元彦(横沢)

本原

飯島 慶三郎(下原)

傍陽

井上 かつよ(田中・堀内)

内海 章緒(大庭)

金子 誠(田中)

小林 重利(入軽井沢)

小林 正子(下横道・堀内)

佐藤 昌江(萩・柳沢)

清水 民子(曲尾・上原)

関 弘吉(中組)

館野 清實(田中・堀内)

中沢 欣勇(下横道)

中村 洋子(田中・木下)

半田 喜章(中横道)

平田 金子(岡保・橋詰)

深町 共榮(田中・山岸)

堀内 寿美(上横道)

堀内 幸(上横道)

武捨 衛人(中組)

以上35名

「次の第31回総会の予定は2

018年5月20日(日)です。」

創立30年に寄せて

御殿場市在住 柳沢 喜三郎

(傍陽・萩出身)

三十年前の上野池の端文化センターは異様な雰囲気包まれていた。「東京真田町の会」設立に参加すべく集まった人達である。

友人知人と会う為、三百数十人がロビーに集合したのである。方言丸出しの会話に夢中、何と素晴らしい集まりであろうか。

東京真田町の会は、初代小林会長以下、三井、塩沢、中島さんなど、歴代の会長を経て現在の山口会長に至るまで、役員のみなさんの献身的な努力により、今日三十周年を迎えたことは誠に目出度く、心からお祝い申し上げます。

町役場等関係筋の協力を得て、心のつどいとして今日に至っていることを感謝しつつ。

以下、郷里の思い出として、時代の推移にともない公職追放令が解除となり、昭和二十九年、意を決して郷里を後にしました。その後、真田町に戻る度毎に、信越線に乗り、碓氷峠を経て軽井沢駅を過ぎるころになると、乗客の間か

ら懐かしい訛りのある会話を聞く。あゝ、郷里に帰ってきたのだと、自分なりに納得したものです。離れてみないと郷里の有り難さがわからないうが、大宮の駅構内に石川啄木の碑があり、

「ふるさとの訛なつかし停車場の人ごみのなかにそを聞きに行く」

また、別に、
「かにかくに渋民村は恋しかり
思い出の山 思い出の川」。

この歌からも昔から故郷はどれ程なつかしいものであるかが分かる。年を経るにつれて車社会となるマイカー時代。その昔御殿場周辺でたまたま長野ナンバーの車を見ては、これは長野の何処の人かなど、思い出すことが屢、偶然にも運転手が上田の人と分かった時など、昔話に夢中になったことなど笑えないうれしい話。

懇親会の様子は又一段と、和気あいあい。其処、彼処に一団。昔話や現況などに花を咲かす。何事にも替え難いひと時。

余興で思い出すのは箱山町長と鈴木邦子さんの寸劇「麦畑」の一駒、酒脱(しゃだつ)な演技に抱腹絶倒拍手喝采。最後は「故郷」の歌、みんな夫々に思い出を胸に浮かべ真田町に帰一する場面があ

った。

特筆すべきは、平成二十七年真田徹氏にご出席いただいたことは、後世の語り草となることでしよう。蛇足になるが、たまたまNHKの大河ドラマ「真田丸」の放映、真田幸村公が何と素晴らしい人であつたかを思い浮かべ、派生的に放映の都度、母校の寮歌「昔、真田の城のあと・・・」やら、校歌「・・・義心(こころ)のあとは今もなお・・・」など幾度も歌う羽目になる始末。

★各部の活動報告

(一) 親睦旅行

超大型台風の列島通過で

中止となった旅行の顚末

(担当金子 誠理事)

創立30周年記念特別企画の親睦旅行(注1)は、ふるさと真田を訪問のあと、ホテル櫻井(注2)に投宿のてはずでした。ところが、標記の台風21号が列島を見舞う予報があり中止となりました。

あらしの進路に気もそぞろ、旅行幹事の私は1週間ほど前からTV等の気象情報に聞き耳を立て

ておりました。日本の予測技術の高さには定評があるので、出発の3日前、20日(金)朝から終日放送されていた台風の進路状況が気がかりでした。予報によれば、台風は23日の未明には東海地方に上陸し関東地方を直撃するとのことで、交通機関は混乱回避のために運休とする可能性が大きいと報じていました。

機を逸せず、山口会長と相談し「参加者皆様の身の安全を第一」として中止することにしました。

即、中止の連絡を旅行会社や真田地域自治センター地域振興課伊藤岳彦様の携帯電話に架電するとともに、参加者の皆様方へ「中止」の連絡には金子のほかに柴田と一之瀬の援軍を得て3人手分けをして、22時ごろには全員に通じて、ようやく安心しました。有難う御座いました。

この旅行計画では、上田城跡公園内(旧市民会館)特別企画「400年の時を経て蘇る上田城」などのお手配をいただいた真田地域自治センター長山宮正久様と伊藤岳彦様には大変お世話になりました。中止したことで御礼のことばも申し上げられず誠に申し訳ございません。ここに厚く御礼申し上げます。また、真田町内食事処「しんりん」において昼食の後、JAの久保町子様がた(注3)のお話をき

《広告欄》

九段中央法律事務所

誠実に、確実に、そして親切に

弁護士 山口元彦

弁護士 鈴木 謙

〒102-0073 東京都千代田区九段北 1-10-1

弁護士 奥野伸二郎

九段勸業5階

TEL 03-5215-1511 FAX 03-5215-1512

不動産に関する問題 相続問題 金銭問題
交通事故 刑事事件・少年事件 その他

地下鉄東西線・半蔵門線・都営新宿線 九段下駅
徒歩5分(ホテルグランドパレス向かい)

くことになっておりましたので、たいへん残念でした。また、機会がありましたらよろしく願います。

この機会を心待ちにしていってくださった会員の皆様、ぜひ次の回を楽しみにしてください。また、行きたい希望地などがありましたらお知らせいただければ検討致しますので、大勢の皆様方のご参加をお待ちしております。

(注1) 予定10月23日(月)・24日(火)、参加者19名

(注2) このホテルは「第42回プロが選ぶ日本のホテル旅館100選」において全国第5位の草津温泉で紹介がありました。

(注3) 今年の5月14日(日)に開催した第30回の本会総会・懇親会へご出席いただいたJA信州うえだ真田地区女性部の各位。

(二) スポーツ

(担当 荻原啓治理事)

(1) 春・秋季マレットゴルフ

両季とも計画はありませんでした。

(2) 春季合同ゴルフ大会

3月23日(木) 恒例の上田会との合同コンペは八王子の武蔵野ゴルフクラブを会場とし参加者16名(上田会14名、真田町の会2名)

で行われました(真田の会からは飯島慶三郎、堀内政)。晴天のもと、続出した好プレーに参加者は沸き立ち、優勝は池野、ベストグロスは堀内でした。

(3) 秋季合同ゴルフ大会

秋の交流ゴルフ大会(真田会と上田会の合同開催)は10月19日(木)に行われる予定でしたが台風接近のため中止となりました。したがって、今後次年度のゴルフ大会の開催方法を同会で検討することになっていきます。

(三) 四季めぐり

― 企画および実施 ―

「企画」 春季マレットゴルフへの参加者はいなかったため、気楽にご参加いただけるような近郊ハイキングを立案しました。

ことの発端は、2017年の第30回総会のあと、自由参加の反省会で集まった折り、「高尾山へ行きましょう」との提案があったからです。さつそく、7月3日の理事会で企画の趣旨と実施方法を諮ったところ「まず始めましょう」ということになりました。目的の一つは健康のための体力づくりです。二つ目は会の輪を大きくすることにあります。参加者の範囲を家族や同郷、および友達へ広げること、で、「さなだの郷」をもっと知

ってもらうことにありました。さらに、気さくな雰囲気になるように、経費などはすべて参加者もちにしました。実施は梅雨明けの7月末、行事名を「夏の高尾山ハイキング」とし、理事一之瀬を中心に進めることになりました。実施要領をおこし、参加いただけたような皆様へのFax連絡などには理事三名(一之瀬、神田、および柴田)があたりました。

「実施」 実施方法などを本会HPへ掲載しました。

つぎに、第1回の実施結果を報告します。

(1) 名称 夏の高尾山ハイキング
(2) 日時 7月30日(日) 集合時刻10時

(3) 集合場所 京王線高尾山駅 前(雨天中止)。

(4) ハイキングの結末
当日の朝は小雨でしたので、坂口理事から「現地問合せしましょう」との提案がありました。そこで6時と、6時半に現地の清滝駅へ状況を伺ったところ、「降雨」の回答でした。

したがって、参加者からの問合せに対しては「中止です」と回答しました。しかし、雨でない地域のかたや雨中決行組は集合するので、計画した理事は高尾山駅へ向かいました。

案の定、友人5名を誘った会員

《広告欄》

空き家・留守宅・空き家の管理 お任せください

大切なお家を
建物のプロが
しっかり守ります。

お電話ください

(株)空き家のおまわりさん

〒386-0151 長野県上田市芳田 468-6

(株)幸和建設内)

代表取締役 宮下 幸良

TEL 0268-36-3114

FAX 0268-36-3838

mail : info@kowa-kensetsu.jp

平田様と友人、および湯治目的の柴田様とお孫さんが来ました。

― 雨中の高尾山ハイキング ―

参加者7名(平田様とご友人5名、および一之瀬)。

相談して6号路琵琶滝〜びわ滝道〜1号路へ頂上、と決めました。10:10先陣の6名が同駅前発(小雨)、10:25一之瀬は遅れて発(頂上着まで小雨)。11:50〜12:05高尾山頂着(雨なし)、昼食および休憩(時おり小雨)。12:55(雨上がり曇天)頂上出発、とび石〜6号路〜琵琶滝〜清滝駅(ケーブル駅)着14:25、14:35(雨なし)高尾山口駅前、無事に解散となりました。

天候概況…山頂までは風なく小雨でした。帰路は風なく曇天、途



高尾山頂で昼食、時おり小雨だが元氣

中瑞典の一留学生と話しながら気楽に下山できました。清滝駅ではシャツの汗も乾きホット一息。これで、夏季ハイキングは小雨でも実行できる、との自信を得ました。雨天ものともせず参加された皆様、ありがとうございました。

私の故郷

所 けさい

(中横道・堀内)



(一九八七年)
誕生した自分史文集です。明治大卒の
後藤総一郎先生、鈴木政子先生に
ご指導いただき、二十七名が参加による
ものです。

昭和十一年四月、私は、長野県小県郡傍陽(ちいさがたぐんそえひ)村尋常高等小学校に入学しました。一学年は忠組と孝組。私はそのうちの孝組であった。担任の小宮山ちかみ先生を真中にしての入学記念写真。大好きだった祖母

きのえ(昭和十七年四月、私が上田高等女学校へ入学したのを見て、数日後、八日に死亡)が縫つてくれた着物に袴をはき、下駄ばき姿で先生の脇に納まつている。この色あせた一枚の写真を見るたびに故郷がよみがえってくる。

校門の写真色あせ春めぐる

小学校は、村の中心に本校があり、二つの沢にそれぞれ分校があった。私は本校まで約二軒の道を毎日せつせと通った。冬になって村中雪に覆われるころは大変だった。朝早くから村人たちが総出で、往環の雪掻き作業をしてくれるのを待ちながら、大きな長靴をはいて滑りながら転げながら登校したものだ。

雪掻くや

歩くに足る巾もたせ

山の斜面を利用しての養蚕が盛んだった村も、昭和十二年頃から衰退の一途をたどり、三十年頃には、ほとんどの桑畑がりんご畑へと変わってしまった。

一郷を

うめてりんごの花ざかり

村の特産物の一つに凍豆腐(しみどうふ)がある。一センチメー

《広告欄》

齋藤指圧治療院

齋 藤 勇 一
(真田出身)

〒153-0043 東京都世田谷区松原 5-56-10
シャポール東松原 301 号
☎ 03-3322-6622

トル位の厚さに切った豆腐を凍らせ藁であむ。これが、いく連も家の軒下に吊るされる。売り子は、遠い町まで行商に出た。傍陽の凍豆腐は有名だったらしい。

わらしべに

身をゆだねたる凍豆腐

保存食の一つの凍豆腐と共に、信州特産の野沢菜や大根の漬物は欠かせないものである。太郎山から吹きおろす冷たい風の中、洗馬川(せばがわ)の川べりに洗い場を作り、十一月の声を聞くと、野沢菜洗いや大根洗いが始まる。

大根を洗う女の着ぶくれて

昭和四十四年、「上田丸子電鉄北東線廃線」を故郷からの便りで知ったときは、大変なショックだった。この電車は、長野県の文化の中心地上田市から傍陽まで、一つのトンネルと三つの鉄橋を通して大正・昭和と走り続けてきた。何とかして存続させたいと陳情も繰り返されたというが、ついに、終点駅傍陽(そへひ)は小さな駅舎だけが昔を偲ぶよすがとなってしまった。

廃線の駅舎の残る村凍てり

これが私の故郷傍陽村である。戸数八百、人口四千、標高六九〇

米。四方山に囲まれた山紫水明の地。あなたの故郷はと問われると、いつも私はこの一くだりで故郷を語る。太陽が東の山の上から昇り西の山の上に沈む。誰が名付けたのか、傍陽(傍から陽が昇る)とは実にいい得て妙である。現在は、昭和三十三年の町村合併により、真田幸村で有名な真田町となっている。

戦時中、こんな山奥まで白壁という白壁はすべて、泥や炭が塗られてしまったが、漸くその壁もきれいに塗りがえられて、昔の落着きを取りもどした。

白壁に

十字紺(かすり)の赤とんぼ

そして、ひとところ疎開の人たちの出入りで騒騒しかった村も、静かになったと思うと過疎が始まった。すっかり取り入れの終った故郷は、こもり柿だけが目立っている。

蒼天は

柿の実ばかり過疎の村

(注)傍陽村の人口と戸数の推移
昭和五年 四〇〇二人、八〇五戸
昭和十二年 五〇六五人、九五六戸
昭和五十三年 三三四五人、八三一戸

☆

☆

東京真田町の会の

みなさんへ

宗教法人長谷寺代表役員・住職

宮下 俊哉

信州真田も初雪が降り、ふもとから根子岳、四阿山、烏帽子を望むと白い山肌が光に照らされ青空にはえております。

さて、こんにちは、『真田の郷まちづくり推進会議』会長の宮下俊哉と申します。



はて、初めて聞く団体名であるうかと思えます。それもそのはず、今年7月1日に発足したばかりの組織でございます。一体なんの団体なのでしょう…。一言で申し上げるなら、将来人口が減っていく中で、真田地域の住民が自主的に真田地域の課題や運営に参画して地域の維持をおこなっていく組織です。真田地域も上田市と合併以

《広告欄》

株式会社 千曲美装

代表取締役 宮下 毅

〒386-0015 長野県上田市常入 1-7-104

Tel 0268-23-7896 Fax 0268-23-7813

e-mail t_miyashita@chikumabiso.co.jp



悩む前に
相談して
良かったわ!!

アパート、マンションから
一般住宅までリフォーム・
メンテナンスの全てをお引き
受けいたします。

お気軽にお声かけ願います。

来、地域の特色ある運営と住民サービスのために、真田地域自治センターがおかれ、地域協議会や魅力アップ応援事業などにより伝統と歴史ある真田地域が維持されてきました。上田市では将来における人口減の社会において地域を維持すべく、さらなる地域の主体性に取り組みを進めており、その一連の流れの中で地域における住民自治組織の設置について地域経営会議、真田まちづくり準備会と検討がなされ、本年7月1日に「真田の郷まちづくり推進会議」として真田地域においての住民自治組織が誕生しました。

上田市では他に、丸子、川西、武石、など各地域で立ち上げが進んでおり、実はこのような地域運営組織は全国で1680を超える団体があり、NPO法人や任意団体、株式会社とその形態も様々で、取り組みも地域の交通や空き家対策、高齢者の見守り、冠婚葬祭、農業の担い手など地域の維持と課題に工夫を凝らした取り組みがなされております。

私ども、真田地域ではこれまで協議する中で、真田地域を一つの自治組織にするのか分割するのかなど様々な議論がなされましたが、結論が出ないところでございました。そこで、一つの会議体の小さい組織として、この組織が誕生し

ました。

現在は組織の基盤整備と「まちづくり計画」の策定などに向けてすこしづつ進めているところです。これからは、地域の課題を地域の住民のみならず様々な人や団体を巻き込んで議論していくところです。

浅学菲才ながら会長を仰せつかりました私、宮下の本業は、長谷寺の住職でございます。現在のこの組織の理事には若手は20代からかわつていただいております。多様な人と多様な関係性が持続可能か地域づくりかと思えます。日本全体の人口が縮小への向かう中で、この真田地域だけに特化するのでなく、身近な地域の助け合い、広い地域同士での助け合い、全国の地域同士が助け合えるような関係性こそ持続可能な社会だと思います。そのためにも真田地域出身である皆様も真田の地域づくりには是非関心をお寄せいただければ幸いです。

みなさまへ

JA信州うえだ女性部真田支会

支会長 久保 町子

この度は、日本ダボス第30号に寄稿させて頂き、誠にありがとうございます。

ございます。

本年、三月からJA信州うえだ女性部真田支会、支会長となりました久保町子と申します。

五月の総会においては、私共JA信州うえだ女性部真田支会の出席申し出を快くお受け戴きありがとうございます。

田んぼの稲も刈り取られ、真田の郷もひと雨ごとに、秋の色が深まってまいります。



ふるさと真田町は、四阿山と根子岳を背に、野菜の一大産地である菅平高原のレタスをはじめ本原、傍陽地区のリンゴ、アスパラ、きのこに至るまで農家の皆さんが、丹精込めて生産、出荷しております。

又、菅平の花弁、トルコギキョウにおいても市場では、評価が高いものとなっております。

総会では、東京真田町の会の皆様に、ふるさとの新鮮な野菜、山菜が届けられればと思います会場でのご提供をお願いした次第です。一

《広告欄》

ゆっくり湯治してほしい温泉宿。かけ流しの温泉でココロも身体もほかほか。
心を込めた手作り料理も宿の自慢です。
無料送迎バスで、皆様のすてきな旅をお手伝いします。

信州鹿教湯温泉 水車のまわる宿

TEL 0268-44-2236

〒386-0323 長野県上田市鹿教湯温泉 1422

ろく めい そう
鹿鳴荘

番人気は、アスパラ、こごみだったでしょうか？

近年輸入食品が増え、食品偽装、遺伝子組み換えと、私達の食卓を脅かす問題が、後をたちません。女性部では、昨年に続き八月に横浜港の野積みの実態を視察に行ってきました。

炎天下で何か月もテントの中に積まれた、塩漬けの大根、なす等でした。その事実を目をうたがひ、改めて食品の「安全管理」を考えさせられました。

私達女性部は、JAをよりどころにして仲間づくりをしながら、食の安全、安心を活動の中心に地産地消に取り組んでいます。

私達は今、新しい事に取り組んでいます。総会にお配りした乾燥リンゴです。地元のくだものを使い、農家さんが全て消費できるよう少しでもお手伝い出来ればと考えております。

女性の感性とパワーで頑張っていると思っております。

東京真田町の会の皆様のお声や御提案を頂戴いただければ幸いです。短い時間ではありましたが、皆様のふるさとを大切にしてください。さる想いに接し、楽しい時間を過ごさせていただきました。ふるさとにお越しの際には是非、私達女性部と交流、ふれあいが出来ればと願っております。

お会いできる日を楽しみにしつつ、終わりに東京真田町の会の益々の御発展と会員各位の御健勝を心より御祈念申し上げます、御挨拶とさせていただきます。

☆ 編集部より ☆

台風21号の通過が懸念されたことから、親睦旅行は10月20日の21時に中止としました。旅の予定では食事処「しんりん」で自治センター長山宮正久様と、久保町子様に故郷の活動状況をお話しいただくことになっていました。



これを心待ちにされていた久保様が、23日に会の皆様へ写真「ふるさとの秋色」を送ってくださいました。ここにその写真を、そして送り状を紹介します。

日本ダボス編集部様(送り状)

いつもお世話様です。

今回のふるさとへの旅は中止になったと伺いました。とても残念ですが、またの機会に女性部とも交流の場があればと考えております。また、久保支会長の文章と一

緒に載せていただく乾燥りんごの写真を送りますのでよろしくお願い致します。(JA信州うえだ真田地区事業部総務課 柳沢美香)

クラシックカーレース

「ラ・フェスタ ミツレ・

ミリア2017」

上田市真田地域自治センター

産業観光課

クラシックカーが公道を走るスタンプリイイベント「ラ・フェスタ ミツレ・ミリア2017」が今年も真田地域にやってきました。このクラシックカーレースは、毎年秋に開催され、今年で二十年目を迎え、東京・原宿の明治神宮を出発して、群馬県、新潟県、長野県、山梨県、静岡県、神奈川県の六県を経由して、明治神宮に戻る約1,100キロメートルのルートを一泊四日かけて走行します。1919年〜1967年に製造された車両(その他要件あり)に参加資格があり、今年は109台のエントリーがありました。なお、ルートにはいくつかのスタンプリイポイントが設置されており、参加車両は、すべてのポイントでスタンプリイを押さなければ最終的な順位の対象となる資格を失ってしまいます。

《広告欄》

祝 東京真田町の会創立30周年記念

顧問 三井芳郎

〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 11510

☎ 0268-73-2616

上田市では、2014年から真田地域自治センターがスタンプポイント会場として設定されています。十月十四日(土)の当日は、松代方面から地蔵峠を越えて、百台以上のクラシックカーがやってきて、地元真田地域の「山家雅楽会、ひもろぎ会、信州上田おもてなし武将隊」の皆さんをはじめ、会場を訪れた大勢の観客に迎え入れられていました。

レース参加者の中には、堺正章さんといった著名な方もいて、その方たちが通り過ぎる際は、観客の応援がさらに盛り上がり、参加者も笑顔で応えていました。

また、PC競技と呼ばれる、「決められた区間を決められた秒数で走る計測競技」が、結果公開形式で行われ、会場となった真田地域自治センター前では、約30mを七秒ちようどで通過することを目指す参加者の熱い戦いが繰り広げられ、「7秒!!」と誤差なしのフラットタイムが叩き出されるや、観客からは「ウォー」と感嘆の声が響きました。

観覧をされている方の中には、子ども連れの親御さんが、お子さんと同じくらい夢中な顔をして応援している姿も見られました。世代を超えて同じことに夢中になっているその姿から、このクラシックカーイベントを心から楽しんで

いることが伝わってきました。今後も真田地域の魅力を広くPRすることは勿論のこと、地元である真田地域の方にも楽しんで頂けるイベントの開催及び誘致をしていきたいと考えております。

主催…フォルクスワーゲン BSフジ
後援…上田市 他
協力…上田市真田地域自治センター 他



☆ 選抜2 選抜1
ある晴れた日・初秋の真田を飾る

筋肉鍛え元気で

長生きしまししょう

介護福祉士(横尾出身) 鈴木邦子

日頃何気なく呼吸をしています。が、その呼吸に必要な筋肉(呼吸筋)について書きたいと思います。以前は地下鉄の階段もなんの苦もなく上っていました。が、五・六年前から、きつく感じ上りきると息切れがしたり、また全く気にしたことはない血圧が高くなりました。が、年のせいとあまり気にもせず、医者に行く事もなく過ごしていました。が、二年前ですが、思わぬことがあり、医者に行き降圧剤を処方して貰うことに成りました。その効果で、収縮期でも最高135以上にならず、むしろ低すぎる程になり、勝手に薬の服用を止めてしまいました。すると一週間たった頃元に戻ってしまいお医者様に伺いましたところ、薬を飲まなかった事で血管が硬くなり、再び飲み始めても血管の状態が修復する迄にかなり時間がかかることでした。余り薬に頼り過ぎることはよくないと思うが、それ以来素人判断はしないよう肝に銘じております。

さて、息切れの件ですが、決して年のせいからではなく、呼吸筋

《広告欄》

祝 東京真田町の会 30 周年記念

東京真田町の会

顧問 塩 沢 和 政

(大日向出身)

〒276-0046 千葉県八千代市大和田新田 1074-37

☎ 047-450-3348



を鍛えることにより改善できるとの事で、過日ストレッチ体操の講習会がありました。

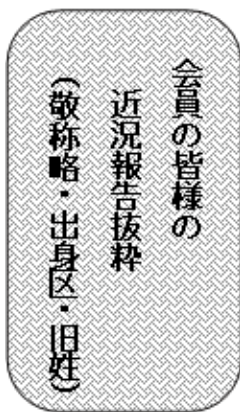
呼吸するのに必要な筋肉ってどこにあるの？ご存知のかたもおられるかと思いますが、私は知りませんでした。沢山あってびっくり、つまり横隔膜から上にあり、肺を囲こんでいる筋肉や首の筋肉そして肩甲骨の周りの筋肉だそうです。運動不足により、その筋肉が硬くなつて行き、共に肺も硬くなると同時に小さくなつてしまい、充分肺に空気を取り込むことが出来なくなつたり、また空気を全部吐き出しきれず、益々肺が小さくなるため息苦しくなるとのことです。苦しいからと言いつつ動かさなくなり、悪循環に成つてしまうそうです。それを改善する為の「呼吸ストレッチ体操」を教えて貰いました。それ程難しくなく、座つていても、立つていても出来る体操でした。

年を重ねるに従い、トイレが近くなつて困るとか、尿漏れがして、出かけるのがおっくうになるとか、そんな声をよく耳にしますが、これもやはり筋肉の衰えから膀胱が硬くなつたり、括約筋が緩むことから起きる現象とのこと。元気で生きるためには、いかに体を動かして筋力をつけることの大切さがよく解りました。この講習を

受ける前でしたが、板橋区の体育推進会主催の募集があり先月終わりに、霧降高原の丸山山頂へのハイキングに行きました。台風22号が発生中でしたが山頂から下山するまでは雨にも合わずでした。標高1689メートルでしたが、整然と並べ作られた木製の階段1445段、正に普段使っていない股関節が痛くなりましたが、なんとか頑張りました。中には84歳の方もいらつしやいましたが、凄くお元気でした。私もそのような方や、ピンころお地藏さんに肖りたいと筋力をつけ、また山登りを楽しもうと思つております。

最後に成りましたが、長い間、理事・事務局長として皆様に支えて頂きお世話になりました。本当にありがとうございました。心から御礼申し上げます。

今後「東京真田町の会」の一会員として皆様とお会いできることを楽しみにしております。今後ともよろしくお願い申し上げます。



1 一之瀬和夫(大日向)

夏になると、「学生村」がはやっていた50年ほど前のころを思い出します。「涼しい満天星の大日向へおいでな」と研究室の学生や大学院生を、一之瀬義雄さんの母上が賄いをしていた村へ案内しました。以後、毎夏に訪れる関西方面からの高校生や受験生もいて20名ほどの男女で賑わい、村人との交流がありました。都会にくらす若者の勉学避暑地として真田には絶好の歴史的資産があります。息の長い真田塾の仕掛けを構築していくプロセスがテーマになると思います。

2 井上かつよ(堀内・田中)

役員の皆様ご苦勞様です。春の日差しと共に桜花が見頃となり、家の廻りは桜のトンネルです。今年も出席させて頂きますので宜しくお願いします。

3 岩井泰子(荻原・本原)

桜花満開の季節となりました。役員の皆様いつもありがとうございます。加齢と共に自分の老いや衰えを意識せずにはいられなくなつて来ましたが、欠席させていただきますが、記念すべき30回が盛会でありますようにと願っております。

4 岩崎 弘(本原)

先約があり欠席します。ご盛会をお祈りいたします。

5 岩崎みち子(正木・菅平)

祝 東京真田町の会 30 周年記念

小山町長野県人会顧問 柳 澤 喜 三 郎

〒412-0045 静岡県御殿場市川島田748-2

☎ 0550-83-0081

《広告欄》

4月に入っても天候が不順で寒い日も多く、早く暖かい日が来ないかと思う毎日です。いつも大変ありがたうございます。

6 内海宏光(大庭)

私の心境を短歌にしました。「わが郷は三月は冬、四月にはついたちみつか大雪のバカ」、「三月に桜の開花話しなし 梅の開花も話題にならず」異常気象なり!! (4月4日)

7 大久保香代子(大日向)

返信がたいへん遅くなり申し訳ありません。

8 大橋けさ子(山本・菅平)

何時もありがとうございます。一年間、健康に過ごせたことに感謝しつつ、出席に〇を付けました。懐かしい皆様に再会出来る日を楽しみにしています。

9 荻原啓治(四日市)

健康第一。毎日楽しく過ごしていったら、と願っています。

10 海瀬弘司(曲尾)

ご盛会をお祈りします。

11 加賀見昌子(山本・横沢)

ご苦労様です。ご盛会をお祈り致します。

12 金子 誠(田中)

今年の総会・懇親会は節目の第30回(創立30周年)記念行事の開催となりますので大勢の皆様のご出席いただきますよう、役員一同心よりお待ちしております。(総

会担当)

13 川上年美(宮崎・菅平)

今年も皆様にお会いして、お話できることを楽しみにしております。

14 久保新一(横沢)

ご苦労様です。ご盛会を祈ります。

15 小林栄子(川上・菅平)

お世話になります。がよろしくお願ひします。何年ぶりかで参加させていただきます。楽しみにしています。

16 小林重利(入軽井沢)

今年に入って坐骨神経痛が悪化し苦労しています。久しぶりに出席させていただきますが、よろしくお願ひいたします。

17 小林孝雄(曲尾)

創立30周年をお祝い申し上げます。初代会長として「東京真田町の会」を立ち上げた時の感慨は、今も忘れることは出来ません。

本会の設立にご盡力された当時の若林町長ほか役場職員の皆様のご盡力に対し心から感謝申し上げます。

18 小林正子(堀内・下横道)

役員の皆様いつもお世話して頂きありがとうございます。元気で皆様にお会い出来ることに感謝し、楽しみに参加させて頂きます。よろしくお願ひいたします。

19 齊藤民子(山浦・下塚)

懐かしい風景の写真は、いつもステキで楽しみにしています。関係者の皆様に感謝いたしております。

20 坂口典和(真田)

迎える側にたつて初めての総会です。よろしくお願ひいたします。

21 坂口 守(中横道)

皆様にお会い出来る事を楽しみにして居ります。

22 桜井和子(中沢・下横道)

毎日何かと忙しく元気で過ごしていますが、歳で足腰が弱くなってきました。

23 笹沢ケサム(久保・横沢)

しらかば通信いつもありがとうございます。いつ読ませてもらってもなつかしい故郷が思い出と共によみがえって参ります。役員の皆様、担当の方々のご努力とご協力のお陰様と感謝申し上げます。私ごとですが遠路行くのが困難の為、欠席とさせていただきますので宜しく。真田町の会がいつまでも続きます様に祈念します。

24 佐藤昌江(萩)

お世話になります。又、皆様にお逢い出来ることを楽しみにしております。どうぞよろしくお願ひ致します。

25 椎名巳津男(山口・横沢)

今年も参加の予定をしておりましたが、急に町の行事が重なってしまいました。残念ですが、会員の皆様方によりしくお伝えくだ

さい。役員の皆様方、いつもありがとうございます。

26 塩沢和政(大日向)

ご無沙汰しております。相変わらず元気で過ごしております。皆様によりしくお伝え下さいませ。

27 塩沢英巳(大日向)

いつもご案内をいただき有難う御座います。今回は先約がありますので、欠席させていただきます。ご盛会をお祈り申し上げます。

28 柴田小夜子(市村・菅平)

毎年皆様にお逢いできる事を楽しみにしております。

29 清水清晴(中横道)

総会の通知を頂き、日本ダボス創刊号(平成元年3月23日)を棚からひっぱり出してみる。330名が参集した設立総会の開催などの写真、懐かしく再度思い出しました。また、しらかば通信の両側に電車の写真、私も「広報さなだまち」の電鉄物語を、今も汽笛が聴こえる電車の写真だけを自分なりにコピーしてあります。会長山口様へ近々に送ります

30 清水民子(上原・曲尾)

東京真田町の会30回おめでとうございます。桜の花も終わり、その花びらジュウタンがきれいです。昨日、散歩に出ましたら、山吹が咲き心地良い風に揺られて居りました。八重山吹は少しおくれて吹きますがとてもすきな花です。信

州の山里を思い出しております。昨年7月に右足の甲の手術後、思う様に歩行が出来ず困難でしたが、ようやく「つえ」つきながら歩ける様になりましたので思いきつて、お久しぶりに皆様にお目にかかりたいと思い、出席させていただきます。よろしくお願い致します。ぎりぎりの返信ですがお願い致します。

31 杉村房枝(落合・萩)

いつもありがとうございます。このたびは出席出来ませんが、「東京真田町の会」のご盛会をお祈り申し上げます。

32 鈴木郁夫(横尾)

上田市に寄贈いたしましたオートマタを「健康プラザうえだ」と「真田町図書館」にそれぞれ10点づつ展示頂いております。機会がありましたらご確認ください。

33 鈴木邦子(横尾)

今年もお元氣でお会い出来ましたねと喜びを感じ、また初めて出席して頂いた方と出会う喜びがあります。年に1回ですが、ふる里訛りを遠慮なく言える仲間が居る事に喜びを感じられる会です。マンネリにならない様、新鮮な会である事を心から望んでおります。

34 鈴木民子(高寺・竹室)

いつもお世話になって居ります。今年の春は暖かい日があったり、急に冬の気温になったりで、この

年齢になりますと体が気温の変化についてゆくのが大変です。日曜日は都合の悪いことが多く、今回は欠席させて頂きます。

35 武田守央(真田)

役員の皆様の御苦労に感謝申し上げます。第1回の開催は上野東天紅での盛会だった事を想い出します。今般、会員の減少です。淋しい思いがしますが、この会が長く続くことを願っております。

36 館野清實(堀内・田中)

亦今年も皆様方とお会い出来る事たのしみにしてます。

37 所 けさい(堀内・中横道)

いつも欠席で申し訳なく思っております。別紙「私の故郷」スペースがありましたら載せてくださいますようお願い致します。まさしく、生まれ故郷へのノスタルジアというところでしょうか・・・

38 中沢欣勇(下横道)

住所が変りました。役員の皆様いつも有難うございます。歳を重ねるのがとつても早く感じ、体力も落ちてきましたが、今のところ体調はまあまあです。頑張りたいと思っております。

39 中島正江(関谷・戸沢)

主人の体調が悪く役員会も欠席しがちですみませんでした。ちょっと落ち着いたので元氣に出席します。保育補助として介護支援などをしているばつています。

40 中村恵美(萩)

真田町の会の通知ありがとうございます。わたくし、3月2日救急で入院し軽いうこうそくで入院中です。しらかば通信、私と妻が上田出身なのでTV放映「真田丸」を本当にたのしく見ました。どうぞ皆様もお身体をたいせつに。草々

41 中村洋子(木下・田中)

いつも有りがとうございます。相変わらずの年をかさねています。よろしくお願いいたします。

42 鳴沢 隆(萩)

別件がありますので失礼します。

43 野間亮子(北沢・横尾)

仕事・家族・興味・趣味など楽しく元氣に過ごしております。

44 野村勝太郎(大日向)

申し訳ありません。私が部長をして居る少年野球の親子大会の日と重なり出席できません、皆様によりしく。

45 萩原清人(萩)

長年お世話になった人を偲ぶ会と重なってしまいました。残念ながら欠席します。ご盛会をお祈りいたします。

46 橋詰吉万雄(中組)

毎年楽しみに出席しておりますが、今回は地元自治会の総会のため出席できません。今だに、自治会の役員として利用されております。会の成功をお祈り致します。

47 花岡孝雄(横尾)

役員の皆様ご苦勞様です。盛会を祈ります。

48 半田幸弘(中横道)

病氣のため外出できません。

49 平田金子(橋詰・岡保)

いつもお世話になっております。楽しみにしております。よろしくお祈り致します。

50 深町共榮(山岸・田中)

東京真田町の会の創立30周年、お祝い申しあげます。会員数は減る一方、地元の過疎化が深刻という中ですが、新しい方向性に期待しましょう。

51 堀内敏夫(中横道)

夏になると草との戦いです。今年も何回も田舎へ帰って、家まわりや畑も出来るだけのことはしたいと思ひます。

52 堀内寿美(上横道)

いつもお世話様になりありがとうございます。遅くなつてしまひすみません。宜しくお祈りします。

53 堀内秀夫(下横道)

介護予防体操や腰痛防止体操を頑張つてやっておりますが、転倒し肋骨を骨折してしまいました。皆様のご健康をお祈りします。また、運転免許証も返納しました。

54 堀内 福(下横道)

おかげさまで元氣です。今年も出席します。

55 堀内 幸(下横道)

役員の皆さんご苦勞様です。今回も一人でも多くの会員の出席を願っています。機会がありましたら昔懐かしの松尾和子さんと横浜で45年ほど前にデュエットした「東京ナイトクラブ」をお願いします。

56 堀内保芳(三島平)

皆さんこんにちは。元気にしています。今年の総会には別件と重なってしまい、残念ですが欠席致します。

57 牧内泰男(萩)

八木五郎殿に会えるのが楽しみです。妻と二人で出席します。

58 丸山廣義(曲尾)

返信が大変おそくなりまして申し訳ございません。ご盛会をお祈り致します。

59 三井芳郎(大庭)

自然にかこまれ元気で生活しております。皆さまによりしくお伝えください。

60 宮本 優(大日向)

所要のため欠席させていただきます。ご盛会をお祈りいたします。

61 武捨衛人(中組)

足腰おとろえて、お役に立てなくなりしました。今回の総会で理事を退任をお願いします。30周年記念講演に若林元町長様がご出席されるので一念発起して出席することに致します。いつも会長職をご苦勞様です。小生、呆け防止のため

め一日中ナンプレとジグソーパズルに取り組んでいます。2016ピースは難度が高く、紅葉の上田城跡公園は一年以上かかりそうです。

62 八木五郎(中横道)

交通事故の後遺症でアレコレ半年整形外科に通院中。ここに来て、検査で大腸にポリープが見つかって、国立千葉医療センターにて摘出手術。5月14日前後とのこと。大事をとって欠席します。

63 柳沢郁政(戸沢)

最近、登山のグループに加わり、毎月低い山に登っています。会報には、真田中学や菅平中学の情報を載せてほしいと思います。

64 柳沢喜三郎(萩)

第30回の意義ある総会に出席できないことを残念に思います。馬齢を重ね94歳となります。第2回目となる東京オリンピックまで頑張ろうと思っています。御盛会を祈念申し上げます。

65 柳沢俊美(戸沢)

都合が悪く欠席します。総会のご盛会をお祈りいたします。

66 柳沢弘敏(萩)

しらかば通信の御送付ありがとうございます。午前中は純白で雄大な富士山を見ながら湘南海岸をウォーキングです。午後は家庭菜園で夏野菜の植付準備などに。読書などしています。

67 柳橋米子(内川・下横道)

会報いつも楽しみにしております。年齢を重ね色々思うようになります。年齢を重ね色々思うようになります。きない事をつらく思うこともあります。ですが、故郷の事などを想う時、楽しい時間を過ごすことが出来ます。いつもありがとうございます。

68 和田美木子(荒井・大畑)

遅くなり申し訳ありません。

同級会などの開催情報

- 長村中学28会(昭28年3月卒、通25回)
- (1) 2017年6月21～22日
- (2) 小諸市菱野温泉常盤館
- (3) 参加16名(女性、男性各8名)

我々は昭和20年の終戦時に小学1年生で、疎開の人もいて仲間は多かったです。

小学校が大日向分校と本校から集まったクラスですから、2組が合同で会をしていると、クラスがどちらだったか分かりません。還暦を過ぎてからは毎年に本会をやっており幹事を長野と関東組みが交代で焼津、寄居、石和などと長野県外でも行いました。

最近では菱野温泉が集まり易い、海拔1800mの車坂峠で飲むコーヒーがうまい、などと同じ所でやっています。そんなとき、八ヶ岳に全員で登った記憶がよみがえり、共有する話題が多く楽しかった。このまま時が経つと来年は80

歳を迎えますが、本会続くことになるのでしょうか。(柳沢郁政記)

- 真田中学昭和33年3月卒(第2期3組)同級会、第59回
- (1) 2017年7月23～24日
- (2) 戸倉上山田温泉圓山荘
- (3) 参加11名(女性6、男性5)

楽しい宴席で互いに近況を語り、酒等酌み交し、誰かが「カラオケ！」と発声するや、自慢の喉を披露、全員「青い山脈」を斉唱。二次会の部屋では卒業文集「線路」を回し読み、大変感慨深い様子であつた。これまで変化・変革の時代を生きた仲間たち、59年前の文集から何を読み、何を感じた(2ページの最下段へ続)

東京真田町の会

監事 深 町 共 榮
(田中出身)

〒366-0052 埼玉県深谷市上柴町西 5-7-82
〒386-2203 長野県上田市真田町傍陽 825-7
☎ 090-7225-6491

平成28年4月1日から平成29年3月31日

収入の部			支出の部		
科 目	予 算	決 算	科 目	予 算	決 算
通常年会費	270,000	250,500	総会懇親会費	550,000	400,099
総会懇親会費	420,000	441,500	会報発行費	450,000	344,308
上田市補助金	300,000	300,000	事業費	150,000	70,000
広告	210,000	170,000	事務通信費	95,000	59,981
寄付金等	20,000	17,500	印刷費	30,000	9,013
利息等雑収入	20	42	会議費	100,000	115,843
			渉外費	90,000	55,000
			交通費	80,000	29,300
			雑費・手数料	60,000	41,550
			予備費	45,819	0
当期収入合計	1,220,020	1,179,542	当期支出合計	1,650,819	1,125,094
前年度繰越金	430,799	430,799	次期繰越額		485,247
合 計	1,650,819	1,610,341	合 計	1,650,819	1,610,341

上記のとおり収支決算を報告いたします。平成29年3月31日 会計 金子 誠 (印)
 上記の決算報告書は適正かつ真実であるものと認めます。 監事 深町 共榮 (印)
 監事 萩原 啓治 (印)

平成29年度事業計画

- ① 第30回総会および懇親会の開催 (平成29年5月14日(日)) に代わる新しい行事の提案、また 会員相互の親睦を図る 行事の実施
- ② 会報「日本ダボス」第30号の発行 ⑥ 上田市との交流促進のため、ふるさと訪問、ふるさと特産品の宅配協力、各種文化交流、およびスポーツ行事等の実施と参加
- ③ 広報誌「しらかば通信」第21号の発行
- ④ ホームページの運営
- ⑤ 会員旅行会・ゴルフ大会・マレットゴルフ ⑦ そのほか

平成29年度収支予算

平成29年4月1日から平成30年3月31日

東京真田町の会役員名簿

平成29年12月1日現在

収入の部		支出の部		職 名		氏 名	
科 目	金 額	科 目	金 額	会 長		山口元彦	
通常年会費	240,000	総会懇親会費	540,000	副会長		金子 誠 柴田小夜子	
総会懇親会費	430,000	会 報 発 行 費	420,000				
上田市補助金	300,000	事 業 費	130,000	理事	監 事	萩原啓治 深町共榮	
広 告	170,000	事務通信費	90,000			事務局長	神田幸雄
寄 付 金 等	15,000	印 刷 費	45,000				会計理事
利息等雑収入	30	会 議 費	110,000			編 集 長	
前年度繰越金	485,247	渉 外 費	80,000				
		交 通 費	95,000				
		雑費・手数料	75,000				
		予 備 費	55,277		顧問	小林孝雄 三井芳郎 中島正江	清水清晴 塩沢和政
収 入 合 計	1,640,277	支 出 合 計	1,640,277				

～ 会 員 消 息 ～ (平成 28 年 11 月～平成 29 年 10 月、敬称略)

＜ 住 所 変 更 ＞

桜井 和子 〒114 -0002 東京都北区王子 1-28-10 ヴェラハイツ王子 204 (下横道)
中沢 欣勇 〒130 -0011 東京都墨田区石原 3-17-8 エトス両国 403 号 (下横道)
石谷 彰治 (転居先不明)

＜ 退 会 ＞

長い間、本会の運営にご協力くださりありがとうございました。くれぐれも健康にご留意ください。
井出 道子 滝沢けさ子 森本 幹生 横沢 義雄

＜ 逝 去 ＞ 本号よりこの欄は掲載しないこととします。

次回総会の予告

2018年度の第三十一回総会・懇親会は5月20日(日)、私学会館アルカディア市ヶ谷で開催の予定です。大勢の会員の皆様にご出席いただけますよう、お待ち申し上げております。詳しくは、4月発行のしらかば通信22号でお知らせします。

年会費払込に際しては専用の払込票により郵便局でお払下さい

当会の年会費は、平成27年度までは一千円、平成28年度からは一千五百円となりました。したがって、①過年度分を未納の方で本紙へ同封した郵便局払込用紙でお支払いされる場合は、年度と金額を必ずご記入下さるようお願いいたします。

また、②2018年度の年会費一千五百円を払込みされるときも、同年の春にお送りする「しらかば通信」に同封の払込用紙をご利用下さるようお願いいたします。①、および②いずれの場合も払込取扱票に「通常払込料金加入者負担」と印刷してありますので払込料金は不要でございます。

広告御礼

本誌第30号の発行にあたり広告をお願い致しましたところ、多くの皆様からご協力を頂きました。ここに厚く御礼申し上げます。

新会員ご紹介のお願い

会員の皆様にはいつも会の運営にご協力頂き誠にありがとうございます。会員相互の出会いと親睦、そしてふるさと真田町との交流の親密化を目的に誕生した東京真田町の会(1988年9月設立)も、次年度に30年の歴史をもつこととなります。これまで、先輩役員のご努力、会員の皆様のご協力、そして旧真田町ならびに上田市のご支援により、今日を迎えることができたこと、誠に同慶のいたりでございます。

本会がさらに充実し、発展し、新しい何かを探し続けるためには、何にもまして、会員数の増加が重要であります。皆様の友人、知人で本会に推薦できる方がおいでしたら、会長または役員までご一報いただきたく、よろしくお願い申し上げます。

編集後記

本会の創立三十周年記念日本ダボス第三十号を皆様へお届けします。

はじめに、身の温まる原稿をお寄せ下さった皆様に厚く御礼申しあげます。

次に、今年度に理事方との交代があったことをご報告申し上げます。

長きにわたり本会の発展にご尽力いただいた四名の理事方…堀内寿美様、鈴木邦子様、武捨衛人様、および堀内政様にはこの機をもつて深甚なる御礼を申し上げますとともに、これからも本会の運営にご支援をいただけるよう、お願いしております。

本年度から神田幸雄理事には事務局長を、坂口典和理事には会計を担当していただくことになりました。

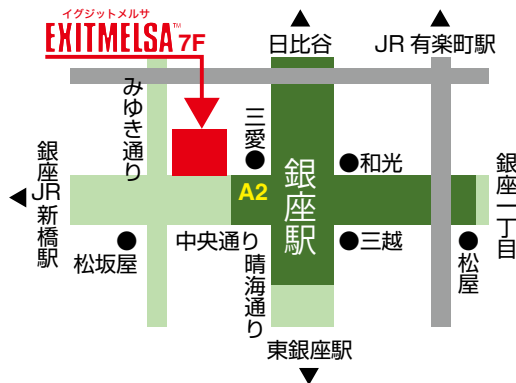
設立から幾星霜を経た今日、当時の先輩方は今、かなりのご高齢になられておいでです。先達方々への健康応援や会の活性化にむけて、日ごろは体力を、季節行事では丘陵へのハイキングなど、本会は活動的指向を提案してまいります。喧騒もすぎ、しばし我にかえて俯瞰の境地に立つさなの雰囲気を感じるこの頃です。

地域の健全な発展と、先をみわたした自治体の福祉活動も始まっています。広い年齢層からなる新機軸「真田の郷まちづくり推進会議」の見える化活動に期待しております。

連絡先 山口元彦 〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6 TEL・Fax 042-383-6555

祝 東京真田町の会 30周年記念 - 会報 30号 -

ロシア料理 渋谷ロゴスキー
ROGOVSKI
銀座本店



〒104-0061

イグジットメルサ

東京都中央区銀座5-7-10 EXITMELSA 7F

tel : 03-6274-6670

mail : rogovski@rogovski.co.jp

http://www.rogovski.co.jp/

Lunch 11:00-16:00 (15:00 LO.)

Dinner 17:00-22:30 (入店は21:30まで)

Take out 11:00-21:30

定休日/原則年中無休 (イグジットメルサの営業日に準じます)

東京メトロ銀座駅 (銀座線、丸ノ内線、日比谷線)

A2番出口より徒歩1分 (右斜め前方約70m)



くらしによろこび創りませんか
信州うえだ農業協同組合
代表理事組合長 坂下隆行

〒386-8668 長野県上田市大手2丁目7番10号 TEL0268-25-7800 FAX0268-25-7820

JA 信州うえだ 女性部真田支部

〒386-2201
長野県上田市真田町長 3983-1
TEL 0268-72-2300
FAX 0268-72-4032



現代舞踊内海流 舞踊教室

東京真田町の会 顧問

中島正江
(内海鉄故望)

〒157-0067 東京都世田谷区喜多見 3-22-18-103
☎ 03-6411-0703

日本ダボス 平成29年12月23日発行

発行 東京真田町の会 会長 山口元彦

〒184-0012 東京都小金井市中町 2-19-6, Tel. 03-5215-1511, Fax. 03-5215-1512

編集 (編集長) 一之瀬和夫 深町共榮

印刷 上田市住吉: 精巧堂 (株) アオヤギ印刷